

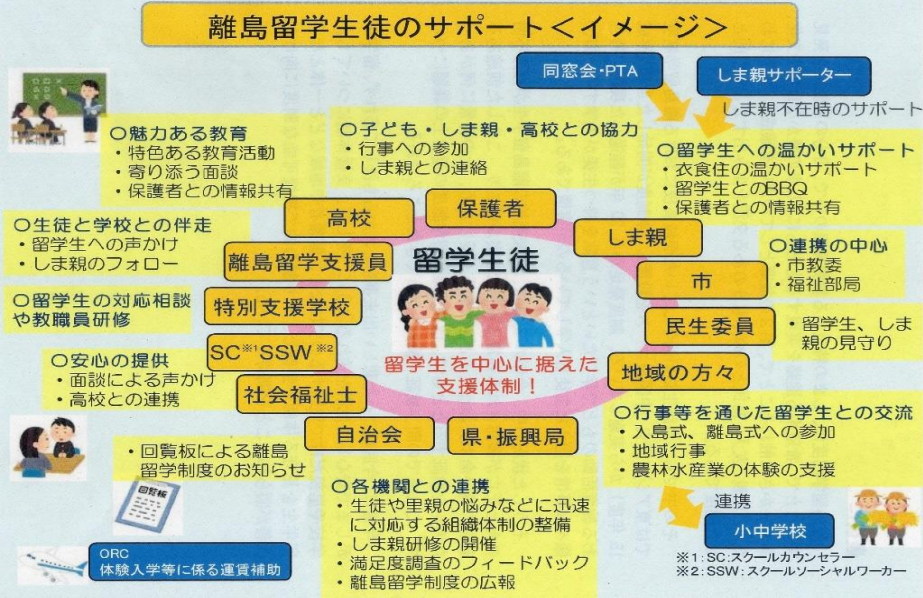
「**壱岐市こども計画（素案）**」に対するパブリックコメントにおいて提出されたご意見及びご意見に対する市の考え方

| No | ページ  | 章                     | 項目                                | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|------|-----------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 巻頭言  |                       |                                   | 製本の段階においては、市長さんに「こども」と「若者」と「子育て世代」のための計画であり、また、そのためにあらゆる世代で支えていこうという市民への呼びかけの力を持つ巻頭言を掲載していただくようにお願いします。「壱岐新時代」の到来を市民が実感でき、そのうえで、全国の先を進む厳しい社会情勢の中で、それでも将来世代を育み支えていく決意を市民が持つことができるような、ガツンとした内容を期待します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ご意見として承ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2  | はじめに |                       | はじめに                              | 今回の壱岐市こども計画は、壱岐市のこども・若者・子育て世代のための計画です。壱岐市の未来を創るためにあらゆる世代で、壱岐のこどもを支えていこうという市民への呼びかけのための計画だと考えます。「壱岐新時代」の到来を市民が実感でき、課題最先端地域として厳しい社会情勢の中でも将来世代を生み育み支えていく決意を市民が持つことができるような市長のメッセージを期待しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ご意見として承ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3  | 5ページ | 第1章<br>計画の策定<br>にあたって | (2) 壱岐市の計画体系における位置づけ              | 令和8年度を終期とする5年間の「第3次壱岐市地域福祉計画」について、今回の「こども計画」(および「総合計画」)の成立と歩調を合わせる形で中間見直しを行い、前倒しで令和7年度を始期とするする「第4次壱岐市地域福祉計画」としてリニューアルさせてはどうでしょうか。<br>「第3次地域福祉計画の中間見直しを行い、それにより令和7年度から5年の延長を行う」という展開でもかまいません。今回の「こども計画」を重層的かつ包括的に子どもたちのために壱岐という島の中で関係機関が取り組んでいくためには、それくらいの地域福祉計画の見直しが必要なのではないでしょうか。「壱岐新時代」を実際に支える子どもたち(これから生まれてくる子どもたちを含む)に支持される「地域福祉計画」の再生を期待します。<br>あわせて、現時点では「市の地域福祉計画」と「市社協の地域福祉活動計画」が一体化されておらず、市の財政援助団体である市社協においての「子どもたちと子育て世代」に対する福祉施策とその連携・役割分担がいささか弱いところがあるように思う。<br>なお、誤解を生じないために念のために記載するが、関係者の皆様のあらゆる努力がなされていることは間違いのないが、第3次地域福祉計画を策定するときに市社協の地域福祉活動計画を一体化させなかったことによる弊害が、現場の福祉関係者の献身的努力があっても乗り越えられない状況にあり、むしろ足かせになってしまっている状態を計画ベースで取り除くことによって、より子どもたちが幸せになる方向になることが期待されるのではないかという意見として受け止めていただければと思います。 | ご提案の今回の「こども計画」(および「総合計画」)の成立と歩調を合わせる形で、「第3次壱岐市地域福祉計画」の中間見直しを行い、前倒しで令和7年度を始期とする「第4次壱岐市地域福祉計画」としてリニューアルするという件に関しましては、現時点では考えておりません。<br>しかしながら、次回の計画策定の際には、第4次壱岐市総合計画の内容を踏まえつつ、壱岐市こども計画(素案)の基本理念である「ゆとりとやさしさで育む、輝く未来ある島 壱岐」の実現を意識した計画となるよう努めてまいります。<br>併せて、ご意見いただきました「市の地域福祉計画」と「市社協の地域福祉活動計画」につきましても、一体化した計画となるよう努めてまいります。                                                       |
| 4  | 5ページ | 第1章<br>計画の策定<br>にあたって | (2) 壱岐市の計画体系における位置づけ              | 今回の「こども計画」策定を契機に、壱岐市としても市の農業振興基本計画を定めてはどうか。<br>参考：https://www.maff.go.jp/j/nousin/seibi/sogo/s_seibi/attach/pdf/index2-5.pdf<br>食育の推進、地産地消の推進(学校給食の地場産給食の推進)、子育てに資する所得向上のための農産物の多角的移輸出や高品質化、壱岐の農地を保全するためのマルチワーカーの誘致や島外農業生産者(企業等)の誘致、農業を志すこども・若者への支援など、「こども計画」で掲げられたことを壱岐市農政でも計画建てて取り組むための市を主体としたものがあってしかるべきフェーズが到来していると思う。<br>とはいえ、いきなり農業振興基本計画の策定に着手する必要はなく、まずは市の附属機関「壱岐市農業振興地域整備促進協議会」等が開催されたときに、「こども計画」の取り組みをぜひ紹介されることから始めていただければと思う。こどもたちのために食育の推進が必要であり、基幹産業としての農業の重要性が「こども計画」にエッセンスとしてうたわれてあることを各界の方々に認識していただき、消費者の求める安全安心と、市民が求める環境との調和を壱岐の農業政策のうえでどう実現するしていくかについての、活発な議論が行われることを期待している。                                                                                                                   | ご意見として承ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5  | 5ページ | 第1章<br>計画の策定<br>にあたって | (2) 壱岐市の計画体系における位置づけ              | 本計画では、「壱岐市総合計画」を上位計画として、計画間の整合性を図るようにされていますが、令和7年度からの「壱岐市総合計画」は、「基本戦略」部分しかパブリックコメントが実施されておらず、「分野別まちづくり計画」の十分な作成と市民への共有が徹底されていません。令和7年度になってからの後付けで構いませんので、「総合計画における分野別まちづくり計画」の充実を政策企画課にやっていただき、もって上位計画たる存在に「壱岐市総合計画」を育てていただくようお願いします。上位計画があやふやだと、それに引きずられて「こども計画」がふらついてしまい、結果として子どもたちや子育て世代、将来の親となる若者世代が迷惑を被ります。確固たる決意を、いきいろ子ども未来課から政策企画課に求めていただくとともに、政策企画課には庁内における協働・共創のリーダーシップを発揮していただくことを期待します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 令和7年度からの「第4次壱岐市総合計画」では、より市民皆様に分かりやすく伝えるために、分野別まちづくり計画を短くまとめた上で基本戦略のあとに盛り込み、詳細版を参考資料という形で整理しています。<br>詳細版については、基本目標に紐づく各課の個別施策を体系的に整理したもので、総合計画の進ちょく管理や検証作業を行うための行政内部資料として位置付けており、パブリックコメントの対象としておりませんが、今後、計画本編とあわせてホームページへの公開を行います。<br>総合計画で定めた施策の実現化の為に策定する各分野の個別計画において、総合計画との整合を図るとともに、今回の子供計画同様にパブリックコメント等による市民参画の機会を設けながら、より具体的な施策を盛り込んだ計画として策定し、総合計画の目標達成に向け着実に取り組んでまいります。 |
| 6  | 5ページ |                       | (2) 壱岐市の計画体系における位置づけ              | 現時点では「市の地域福祉計画」と「市社協の地域福祉活動計画」が一体化されておらず、市の財政援助団体である市社協においての「子どもと子育て世代」に対する福祉施策とその連携・役割分担が弱いように思います。今後の計画の見直し時において、再検討を願います。<br>本計画では、壱岐市総合計画を上位計画として整合性を図るようにされていますが、令和7年度からの第4次壱岐市総合計画は、基本戦略部分しかパブリックコメントが実施されておらず、分野別まちづくり計画の十分な作成と市民への共有が不十分だと考えます。壱岐市こども計画が個別計画になるのですが、子ども・子育て世代・若者や将来の親世代の変化するニーズを的確に把握し、計画に反映できる仕組みの構築を策定してほしいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ご意見にあります「市の地域福祉計画」と「市社協の地域福祉活動計画」につきましては、一体化した計画になるよう努めます。併せて、次回策定の際には、「こども計画」を踏まえた計画となるよう検討していきます。また、ご意見にあります計画に反映できる仕組みの構築につきましても、併せて検討していきます。                                                                                                                                                                                                                               |
| 7  | 7ページ |                       | 4計画の対象<br>5(1) 壱岐市子ども・子育て会議における審議 | 計画の対象がこどもと子育て家庭及び若者、市民、地域で活動する団体、企業、事業者などとしているため、計画の策定体制には、今の委員構成だけでなく、若者や地域で活動する団体、企業、事業者などの代表もメンバーとして加え、公募委員も増やしていただきたいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ご意見を参考にさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| No | ページ   | 章                                                 | 項目                      | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                             |
|----|-------|---------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8  | 8ページ  | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(1 統計資料から見る現状)         | (1) 人口の動向               | 人口の動向については国勢調査および社人研推計値が示されていますが、「第4 次壱岐市総合計画」の目標である2050 年2 万人の達成のためには本計画が重要な柱かと存じます。壱岐市が目指してる人口動向についてもなんらかの形で言及されることが望ましいと考えます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 壱岐市人口ビジョン及び総合戦略との整合性を確保しつつ、内容の追記を追記致します。                                                                                                 |
| 9  | 9ページ  | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(1 統計資料から見る現状)         | (1) 人口の動向               | 人口ピラミッドのグラフの解説に、本計画の対象である「若者」も加えていただければと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ご指摘の通り、内容を追記致します。                                                                                                                        |
| 10 | 11ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(1 統計資料から見る現状)         | (2) 世帯数の動向              | ①世帯数の推移 ②ひとり親世帯数の推移 という2つで構成されているが、①と②のあいだに、「一般世帯・核家族世帯の状況」という項目を作り、①～③の3種にしてはどうか。<br>単独世帯の増加により、一般世帯に占める核家族世帯の割合が減少している傾向があるのではないかと思う。あわせて、核家族世帯の構成別の統計も表示するとよいと思う。さらに、核家族世帯は、「夫婦のみ」「夫婦とこども」「男親とこども」「女親とこども」の4種によって構成されるが、この内訳を、5年刻みぐらいでいいので推移がわかるように記載したらよいと思う。その流れがあってこそこの「ひとり親世帯数の推移」の項目が活きてくる。<br>なお、先々においては、うらふれの構造を大事にしつつも、コンパクトシティ化を進め、いかに3世代同居などの形で一般世帯を増やしていくかとか、家族ベースのグループホーム・シェアハウスのような居住空間を形成していくかといったことが、壱岐市における福祉水準をどれだけ維持しうるかということに繋がると思うので、明記はせずともこれを想起させうる前置きとしての統計の活かし方についてご配慮いただきたい。                                                                                 | ご意見として承ります。                                                                                                                              |
| 11 | 17ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(1 統計資料から見る現状)         | (1) 婚姻状況、出生数、合計特殊出生率の推移 | 合計特殊出生率の推移として「平成30 年～令和4年」の5年間の平均の数値である1.80 が記載されていますが、「推移」であれば該当期間における移動平均を全国および長崎県と比較するグラフを示していただくより理解しやすいかと存じます。<br><br>もしグラフを現状のままとするのであればタイトルを「合計特殊出生率の比較」としてはいかがでしょうか。<br><br>また、同グラフの解説として「全国・県より高くなっており、県内でも上位」とされていますが、第4 次壱岐市総合計画(素案)9 ページによれば、「合計特殊出生率は全国平均を上回っていますが、県平均を下回っています。」との記述があります。壱岐市としては、出生率が減少傾向にあって分析・対策すべきとの認識かと存じますので、解説文について見直してはいかがでしょうか。                                                                                                                                                                                                                    | ご指摘の通り、タイトルの変更し対応致します。                                                                                                                   |
| 12 | 21ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(2 各調査結果からみるこども・若者の状況) | (4) 各種調査結果から見る現状と課題     | 21ページから27ページにかけて、アンケート結果をもとにした市の考察を詳しく記載していただいています。アンケート結果の集計表やそのグラフなどが掲載されていないため、その考察が妥当か判断がつかません。集計表やそのグラフといった結果を明示していただかないと、エビデンスに基づく政策展開が行われているのか、非常に不安になります。おそらくは妥当な解釈であろうと好意的に理解したいと思いますが、「担当課による恣意的な解釈」と誤解されないように、製本時・公開時においてはアンケート調査の結果(数値・グラフ)を丁寧に挿入していただき、そのうえでエビデンスに基づいて統計学に基づく合理的な解釈と、合理的な思考による施策の方向性が示されていることをお示しいただくようお願いいたします。<br>また、本計画にはサマリとして必要な根拠分の集計表やそのグラフだけでかまいませんが、ホームページなどに、本計画策定のための調査結果の報告書(調査票や、自由記述欄を含む)を掲載していただき、検証可能な状態にいただくようお願いいたします。調査の集計や分析、標本数などは委託先の調査機関が把握されておられるでしょうから、委託先に報告書の提出を求め、それを委託元の責務として市民のためにWebサイトに掲載等を行うことが、本計画策定にかかる担当課の責務であろうかと思います。 | 壱岐市子ども計画の策定に係る各調査結果については、調査ごとの結果報告書をホームページに掲載しているためグラフの記載をしておりますでしたが、壱岐市子ども計画を策定した際にホームページ等で周知する場合は、各調査結果も同じページに掲載する等、わかりやすい周知に努めてまいります。 |
| 13 | 21ページ |                                                   | (4) 各種調査結果から見る現状と課題     | 「壱岐市子ども計画等策定に係るニーズ実態調査」の結果を<br><a href="https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/kodomo/kosodate_shien/13050.html">https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/kodomo/kosodate_shien/13050.html</a><br>に掲載していただいておりますが、パブリックコメントの募集時に、参考資料として掲載されておいたらよかったのではないのでしょうか。政策企画課さんにおいて、パブリックコメント制度運用全体のなかでご検討いただきますようお願い申し上げます。<br>また、自由記述欄をみますと、親世代の方々の切実なお声が寄せられていることがわかります。もう少し計画に反映できうる内容があると思いますので、今一度、市役所内のすべての部署を挙げて、アンケート結果を自由記述だけでもご一読いただき、壱岐市企画総合調整会議などで庁内の活発なご議論をしていただきたく思います。商工振興課さんや農林課さんが、本計画に連動して、市内事業者向けのワークライフバランスの普及啓発にどのようにされていくのか等に興味があります。                                  | ご意見ありがとうございます。今後、業務を遂行していくうえでの参考とさせていただきます。                                                                                              |

| No | ページ                 | 章                                                                                        | 項目                              | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                             |
|----|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | 21～38<br>ページ        | 第2章<br>壱岐市のこ<br>ども・若者に<br>関する状況<br>(2 各種調<br>査結果から<br>みるこども・<br>若者の状況)                   | (4) 各種調査<br>結果から見る<br>現状と課題     | 各種調査結果から見る現状と課題について、文章のみの解説となっていますが、「第2 期壱岐市子ども・子育て支援事業計画」と同様に各調査結果のグラフが付記されるとより理解しやすいかと存じます。                                                                                                                                                                                                     | 壱岐市こども計画の策定に係る各調査結果については、調査ごとの結果報告書をホームページに掲載しているためグラフの記載をしておりますでしたが、壱岐市こども計画を策定した際にホームページ等で周知する場合は、各調査結果も同じページに掲載する等、わかりやすい周知に努めてまいります。 |
| 15 | 21ページ<br>～27ペー<br>ジ |                                                                                          | (4) 各種調<br>査結果から<br>見る現状と課<br>題 | アンケート結果の集計表やそのグラフなどが掲載されていないため、その考察の妥当性の判断がつきません。アンケート調査の結果(数値・グラフ)を挿入していただき、エビデンスに基づいた現状と課題の掲載をお願いします。                                                                                                                                                                                           | 壱岐市こども計画の策定に係る各調査結果については、調査ごとの結果報告書をホームページに掲載しているためグラフの記載をしておりますでしたが、壱岐市こども計画を策定した際にホームページ等で周知する場合は、各調査結果も同じページに掲載する等、わかりやすい周知に努めてまいります。 |
| 16 | 23ページ               |                                                                                          | 地域の子育<br>て支援事業<br>の利用につ<br>いて   | 約8割が「利用していない」と回答しているが、壱岐市実施している事業だけでなく、委託事業者や民間団体等の子育て支援事業も、当事者にもっとわかりやすく情報提供できる体制の構築が必要だと考えます。たとえば、壱岐市内の子育て支援事業(官民含めた)の情報一元化したサイトなどを作ってはいかがでしょうか。                                                                                                                                                | 壱岐市ホームページに結婚・妊娠・応援サイトを掲載していますが、よりわかりやすい情報発信に努めます。                                                                                        |
| 17 | 28ページ               | 第2章<br>壱岐市のこ<br>ども・若者に<br>関する状況<br>(3 第2期子<br>ども・子育て<br>支援事業計<br>画における<br>取組状況の<br>進捗状況) | (2) 小児医<br>療の充実                 | ・小児科医の「確保」を、「確保・招聘」という表現にできないでしょうか。<br>・今後を見通して、確保・招聘するべき医師として、産科医についても記載するようにしておいたほうがよいのではないのでしょうか。<br>・薬剤師の確保・招聘、および、薬剤の安定調達についても記載しておいたほうがよいのではないのでしょうか。                                                                                                                                       | 「招聘」については、「確保」に含んでいます。また、他の医師確保に関する計画においても「確保」としています。<br>産科医、薬剤師の確保や薬剤の安定調達については、今後検討していくこととします。                                         |
| 18 | 28ページ               |                                                                                          | (2) 小児医<br>療の充実                 | 医療的ケア児の対応の充実についての掲載もお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                       | 57ページの障がい児支援ネットワークの構築での文面に”医療的ケア児”を追記いたします。                                                                                              |
| 19 | 29ページ               | 第2章<br>壱岐市のこ<br>ども・若者に<br>関する状況<br>(3 第2期子<br>ども・子育て<br>支援事業計<br>画における<br>取組状況の<br>進捗状況) | (3) 食育の<br>推進<br>課題や今後<br>の方向性  | 「食農教育活動が継続して実施できるよう、引き続き、実施団体の運営費等を支援していく。」とある。その実施団体等が献身的に子どもたちのために取組まれていることは感謝するところであるが、運営補助金の安易な継続については疑問がある。事業補助金の転換や、食農教育という成果を目的とした公募制による補助事業先の選定など、費用対効果を見た冷静な補助・支援の在り方を考えていただきたい。<br>なお、それは本項以外の補助先にも共通であるし、なんとになれば委託事業も同様である。補助の要綱や委託の仕様を丁寧に見直して、市民のためになるアウトプット・アウトカムが期待される取り組み方をお願いしたい。 | 本項のJA青年部の取組に対する運営費補助金は少額(2万円程度)であり、成果や費用対効果を求めることは難しいと考えます。また公募制による事業者選定も同様に難しいと考えます。<br>本項以外の補助事業等については、ご意見を関係部署へ共有いたします。               |

| No | ページ | 章 | 項目 | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ご意見に対する市の考え方 |
|----|-----|---|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 20 | P29 |   |    | <p>&lt;現状&gt;<br/>幼児教育や保育の質の向上等につなげるために、公立保育所の集約化をおこなったと記載していますが、具体的に集約したら、どう保育の質の向上につながるのかわかるとより良いかと思いました。</p> <p>&lt;課題&gt;<br/>壱岐は多感な時期の子どもたちが過ごすのに適した環境が揃っていると思います。そこで保育の質を考えるのであれば、その自然をより生かしたものをすると、他の自治体と差別化を測れるのではないだろうかと思っています。</p> <p>壱岐の総合計画の方でも「人口を維持する」という方向に決まったかと思っています。現状を続けると確実に「維持は困難」です。</p> <p>&lt;提案&gt;<br/>そこで提案したいのが、壱岐の公立保育所をまずは1つでも良いので「森のようちえん化」してみてはどうでしょうか？<br/>森のようちえんは壱岐の自然を生かした保育を120%できると思います。森のようちえんに通わせている家庭は「子どもの教育のために移住した」という事例も既に多くあります。(大分県日田市のおひさまのはらさまに視察した際、実際に聞いた声です。<br/><a href="https://www.instagram.com/ohisama_nohara/">https://www.instagram.com/ohisama_nohara/</a>)<br/>子どもの教育のためにお金をかけられる人は、世帯収入が安定していると考えられます。また子ども1人あたり両親がついてくると考えると3人の人口確保が見込まれます。</p> <p>壱岐が目指す「人口の維持」を現実のものにするなら、「子どもを育てやすい島」として打ち出す。<br/>そのためにも、まずは公立保育所を1つ森のようちえん化してほしいです。</p> <p>&lt;実施方法&gt;<br/>実際に現場では「誰がするんだ」という声が上がると思います。しかし現状の保育方法に疑問を持っている保育者もいるはずです。せっかく公立保育所で保育士が多くいるので、「森のようちえん設立時に保育をしたい人」と募ってみるのはいかがでしょうか？<br/>保育士の資格を持っている＝ほぼ島外の学校で資格取得をした方だと思います。その方々は島外からみた島の良さを知っていますし、壱岐の環境を生かした保育に興味がある方も多いのではないかと勝手ながら想像しています。</p> <p>もしかしたら保育士にアンケート調査などから始めても良いかもしれません。<br/>これが公立保育所で実現すると、胸をはって「壱岐は子育ての島です」と言えるのではないのでしょうか。<br/>ご検討よろしく願いいたします。</p> | ご意見として承ります。  |
| 21 | P29 |   |    | <p>&lt;現状・課題&gt;<br/>幼稚園・保育所の統合についてですが、今後は小学校も統合の可能性もありますか？2人しかいない学年もあり、少し寂しそうな印象を持っています。</p> <p>いずれ統合されると思いますが、そうなると必ず廃校が出てきます。今からでもその利活用について検討されていた方が初動が早いと思います。</p> <p>&lt;提案・実施&gt;<br/>「雨の日に子どもを遊ばせる場所がない」とよく聞きます。そこで使われなくなった保育園や幼稚園の無料もしくは、少額で開放をしてはどうでしょうか？<br/>どの施設を使うかにもよりますが、地域のおじちゃんやおばちゃんに協力を仰ぎ、鍵の開け閉めなどをお願いすると、そこまでのマンパワーをさかずに運営できそうです。</p> <p>&lt;イメージ&gt;<br/><a href="https://www.islandnagasaki.jp/entertainment/play-kids-land/">https://www.islandnagasaki.jp/entertainment/play-kids-land/</a></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ご意見として承ります。  |

| No | ページ   | 章                                                            | 項目             | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ご意見に対する市の考え方                                               |
|----|-------|--------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 22 | 30ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (2) 児童の健全育成の推進 | <p>長崎県教育委員会が設置し、壱岐市長・壱岐市教育長が委員として参画した「これからの離島留学検討委員会」での議論を踏まえて、離島留学でやってくる高校生や小学生・中学生の「健全育成」の姿や、そうした子どもたちを中心とした『居場所』の創造についての視点を本計画にコラムや脚注、付録の形で差し支えないので、掲載をご検討いただきたい。</p> <p>長崎県の地域づくり推進課の確認の元、小中学生向けと高校生向けとに振り分けられているが、国土交通省の離島活性化交付金を原資として市の政策企画課が定住対策として取り組み、市教委や高校が事務局を務める形で補助制度によって推進している取り組みであるが、令和5年度～令和6年度において、離島留学でやってくる子どもたちを社会福祉士やSC・SSWや自治会、民生委員、市(福祉部局)などが社会的包摂を実現する形で連携することが県教委より壱岐市・壱岐市教育委員会に求められている。これを実装することを県と国に約束する形で、小中学生向けと高校生向けの離島留学にかかる国の交付金を活用する選択を市が選んだのであるから、市の責任において、市民福祉課がリーダーシップをとり、自治公民館やまちづくり協議会、市社会福祉協議会、民生委員児童委員等と連携をとって重層的な離島留学を舞台とした「居場所づくり」ひいては「子育て支援」を実現していただきたい。そして、この離島留学の制度で招聘した子どもたち向けの取り組みをモデル事業の形で充実させることから始める形で、これから生まれてくる子どもたちを含め、壱岐で暮らすあらゆる子どもたち向けの「居場所づくり」ひいては「子育て支援」を広めていただくことを強く期待したい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>いただいたご意見を参考に、関係部署で連携を図り進めてまいりたいと思います。 |
| 23 | 30ページ |                                                              | (3) 思春期保健対策の充実 | 毎年高校3年生を対象とした健康教育を実施とあるが、思春期保健を高校3年生18歳は成人になるため、もう少し早めに対策をされた方が良いのではと感じます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ご意見として承ります。                                                |
| 24 | 31ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (4) 次代の親の育成    | 「こども計画」に明確に記載するかどうかは悩ましいところがあるが、「性感染症予防に関する普及啓発」を、次世代の親の保護、家庭内の調和の維持という観点からご検討いただきたい。スマートフォンの普及と、結婚を希望する独身男女の間でのマッチングアプリの普及があいまって、独身男女を中心とした梅毒の感染状況が右肩上がりの状態である。個の尊重という概念や、ピルの利用といった医学的な進歩、必要以上の規制緩和もあって、梅毒の広がり方は目を覆うものがある。男性が媒介するヒトパピローマウイルス(HPV)の伝播についても気になる。いずれ愛するパートナーと出会い、子をなしたい、子を育てたいと思った人々が、その夢を果たすことができるのか、非常に心配である。年代的な意味で、学卒後に壱岐を離れ、壱岐に戻ってくるまでの間のことで、本計画の対象となる「壱岐在住の子ども・若者」ではないかもしれないが、予防を目指すための啓発活動において「壱岐在住の子ども・若者」に対し、次世代の親の育成の観点から、啓蒙活動に力をいれていただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ご意見として承ります。                                                |
| 25 | 31ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (4) 次代の親の育成    | <p>広報紙には、満百歳をお迎えになられた市民の方を市長さんがご家庭等に訪問され、お祝いの言葉を紹介されるとともに記念写真を撮影されている様子が掲載されています。諸先輩方とご家族の素晴らしい笑顔が何時も印象的である。これは素晴らしい取り組みであるが、この領域で培われたノウハウを「次世代の親の育成」に繋げてみることはできないでしょうか。</p> <p>例えばですが、「事前に予定が分かっていて、調整に余裕がある場合に、市長さんにご夫妻が、受理された婚姻届をとともに、婚姻届の提出の記念の写真撮影をすることができる」といったことはいかがでしょうか。現在の壱岐市における婚姻届の提出状況が月当たり5組～10組程度で推移しているようですので、こうした「結婚を後押しする取り組み」を、試行でかまいませんので、ご検討いただけますと幸いです。</p> <p>また、市長さんと記念撮影が難しい場合において、フォトフレームや背景用のカーテン、スタンド等を設置してあげていただく等の、それ以外の後押しの仕方があればご検討ください。</p> <p><a href="https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/seikatukannkyou/shiminka/koseki/2817.html">https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/seikatukannkyou/shiminka/koseki/2817.html</a><br/><a href="https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept01/Div01/Sec02/gyomu/0358/0360/0361/1522028334164.html">https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept01/Div01/Sec02/gyomu/0358/0360/0361/1522028334164.html</a><br/><a href="https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/siminseikatubu/siminka/gyoumu/koseki_todokede/17458.html">https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/siminseikatubu/siminka/gyoumu/koseki_todokede/17458.html</a></p> | ご意見として承ります。                                                |

| No | ページ   | 章                                                            | 項目                         | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                      |
|----|-------|--------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 26 | 31ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (1) 子育て支援のネットワークづくり        | (1) 子育て支援のネットワークづくり「課題や今後の方向性」について母子手帳アプリ「壱岐はぐ」の登録者数、利用者数が少ないとありますが、実際の登録者数と対象者(母子)数の推移について付記いただくことは可能でしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 母子手帳アプリ「壱岐はぐ」の登録率について、今あるデータから登録数÷国勢調査による18歳未満の世帯員のいる一般世帯で計算すると約25%の利用率となっています。毎年出生人数の約50%の新規加入件数となっています。                                                                                                                         |
| 27 | P31   |                                                              |                            | ＜現状・課題＞<br>第2子以降を出産された場合の祝い金支給は、なぜ第2子からなんでしょうか？おそらく第1子が一番お金がかかりますし、子どもを増やすことを考えると、第1子から祝い金を支給したら良いのでは？と感じます。<br>＜提案＞<br>第1子から祝い金の支給。また「壱岐はぐ」の登録者数も伸ばしたいのであれば、祝い金支給の条件に「壱岐はぐへの登録」を必須にしたら良いと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 次世代を担う若者の定住化を奨励するため、現行の出産祝金や国が行う出産・子育て応援制度の継続的な運用を行い検討していきます。「壱岐はぐ」の登録に伴う支給要件について検討していきます。                                                                                                                                        |
| 28 | 31ページ |                                                              | (4) 次代の親の育成                | 「結婚を後押しする取り組み」の結婚祝い金の年齢制限の再検討をお願いします。(氷河期世代の就労が不安定な方への結婚支援が必要だと考えます)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ご意見として承ります。                                                                                                                                                                                                                       |
| 29 | 32ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (2) 家庭や地域の教育力の向上           | 「具体的な取り組み内容」の中に、「中央公民館での公民館教室」とありますが、例えばどういう実績・事例がありますか。市教委主催のイベント・講座(市全域を対象にしたもの)は散見していますが、それが「中央公民館での公民館講座」に該当するのを知りたいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 中央公民館での公民館教室は、書道教室や韓国語教室、手話講座や歴史講座などの文化に関するものと、モルック教室や水泳教室(小学生対象)などのスポーツに関するものが実績(事例)です。対象は、事業により異なりますが、基本的には市全域(市民)としています。                                                                                                       |
| 30 | 33ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (4) 障がい児施策の充実<br>課題や今後の方向性 | 市の施設である壱岐こどもセンターにおいて児発管が担える有資格者・要件達成者が減少しているというように文章を解釈しました(市職員に足りないのであって、市内にはいる、という理解をしています)。同様に相談支援が担える職員も足りない…というように受け止めています。<br>これについて、昨今の市の職員採用動向を見ていると、福祉職の一般職職員の募集や、それに準じた会計年度任用職員の募集を積極的にされている印象を持っており、それでもなおという状況であるものと推察しています。<br>そういうことであれば、「地域おこし協力隊」としての募集や、特定任期付職員としての募集など、今まで以上の専門職としての処遇が可能な募集の広げ方を検討されてはどうか。<br>また、既存の行政一般職の方に社会福祉主事任用資格を取得してもらったり、福祉事務所には今務めていないにしても先々のジョブローテーションに備えて相談支援従事者初任者研修等を先取りで受講してもらうことを推奨したりするなどして、今おられる優秀な方々にステップアップの準備をしていただくような取り組みをされてはどうか。職員研修の機会が足りないまま、ケースワークの現場に放り込まれて疲弊してしまう流れがもしあれば、それを断ち切る必要があるのではないかと思います。 | 引き続き計画的な人材育成に努めてまいります。                                                                                                                                                                                                            |
| 31 | 33ページ | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (4) 障がい児施策の充実<br>課題や今後の方向性 | 次期総合計画にも明記していただいた「障害者就業・生活支援センター」について、「こども計画」においても、方向性程度で構いませんので、記載をご検討いただけますと幸いです。<br>これまで長崎県下において、壱岐市においてのみ設置されてこなかったために、そうした属性を持っている方で就業可能な方から島外に職を求めて移住してしまっていた可能性が高く、就業がかなり難しい方が壱岐に残り、そのまま生活保護等の行政の支援を受け、結果として行政の重荷になってしまっている可能性があるのではないかと思います。属性を持つ本人や保護者が、親亡き後も見据えて、壱岐で暮らし続けたいと思う際に、中学や高校の卒業後を見据えて就業をめざす伴走をセンターがしてくださるようになるだけでも、かなり「希望」が増えるのではないかと思います。                                                                                                                                                                                                     | 障がい者の就労については、障がい者の方々が、地域で自立した生活を安心して送ることができるまちづくりを実現するうえで、大きな課題のひとつと捉えており、「障害者就業・生活支援センター」の設置に向けては、今後も継続して働きかけを行っていきたいと考えています。<br>尚、今回のこども計画(素案)に、下記のとおり追記します。<br>【追記】<br>○障害者(児)の就業面と生活面の一体的な相談・支援を行う「障害者就業・生活支援センター」を設置する必要がある。 |
| 32 | 33ページ |                                                              | (4) 障がい児施策の充実<br>課題や今後の方向性 | 第4次総合計画にも明記された「障害者就業・生活支援センター」について、「こども計画」においても、今後の方向性として記載を求めます。<br>県内で壱岐市のみ設置されてこなかったために、壱岐で暮らし続けたいが、卒業後を見据え就労のための伴走支援が必要だと考えます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 就労については壱岐市における重要な課題として考えられています「障害者就業・生活支援センター」設置に向けては、継続して働きかけを行っていきたいと考えています。                                                                                                                                                    |

| No | ページ             | 章                                                            | 項目                    | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                    |
|----|-----------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 33 | 36ページ           | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (6) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 | 各家庭にあるスマートフォンやタブレット端末、GIGAスクール構想に伴って学校に配備されたタブレット端末を通じて、必要以上にゲームに時間を費やしたり、有害な画像や卑猥な画像などを子どもたちが参照している事象を、「通信の秘密」や「表現の自由」などに配慮しつつも、壱岐の家庭力・地域力・教育力をもって、子どもたちのためになるような遮断等をとれる体制を構築していただきたい。<br>あわせて、いわゆる「闇バイト」に子どもたちが巻き込まれないようなリテラシー対策等の取り組みについても期待する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ご意見として承ります。                                                                                                                                                     |
| 34 | 37ページ           | 第2章<br>壱岐市のこども・若者に関する状況<br>(3 第2期子ども・子育て支援事業計画における取組状況の進捗状況) | (2) 良質な居住環境の整備        | 「雨天時も利用できる屋内施設のニーズ」を満たすとすれば、県内の公共施設であれば「諫早市立こどもの城」「おむらんど(大村市)」「あぐりドーム(長崎市)」「こどもジオパーク(雲仙岳災害祈念館(島原市に立地))」などが考えられ、民間事業者の施設であれば「メリッタKid's佐世保店」、「あそびドコロ(長崎市)」などが考えられる。いろいろな事例を収集し、市職員の皆様にはしっかり現地を確認して検討をお願いしたい。また、市内の子どもたちや子育て世代の方々とともに視察を行い、共に学びあう形が望ましいと考えます。また、須崎市(高知県)では、「雨天時も利用できる屋内施設の機能を持った図書館」の設置の準備をしていますが、そういった視察をしたり、視察の報告会やそれを踏まえた対話の会を実施するとともに note で発信をしています。https://note.com/susakinosuzukuri<br>「雨天時も利用できる屋内施設のニーズ」を満たす様々な実装の仕方があり得ると思いますが、昨今の情勢を踏まえ「行政単独・新築・単館」は避けていただきつつも、国境離島の雇用拡充の事業を使つての民設民営なども含めて、改善を前提に小さなものから実証実験的にでもスタートしていったらと思います。<br>なお、「芦辺庁舎の2階(旧芦辺町役場の議場スペース)」や「芦辺庁舎の1階(芦辺支所を除いていくつかの課にどこかに移転してもらう)」、「石田農村環境改善センター(石田地区公民館)」などの、子どもたちが集まりやすい場所からのスタートをしてはどうでしょうか。<br>加えて、壱岐市においては公共施設の貸し出しや予約を、紙の台帳ベースで行われています。これ自体は、貸出時の丁寧なやり取りがあつて愛情あふれる手続きなのですが、昨今の「書かない窓口」の方向性を踏まえ、公共施設予約システムを導入してはいかがでしょうか。決済システムを含めて、職員さんの過重労働を減らし、受付業務にかかる人的リソースを、「雨天時も利用できる屋内施設のニーズ」の実現や、子どもたちとともに遊ぶ業務(安全確保を含む)をする若い職員さんの確保といった領域へ人的リソースを振り分けることができる基盤を形成するべきではないかと思います。<br>折しも令和6年度補正予算において「デジタル活用推進事業債(仮称)」なるものが創設されており、これを活用して「社会教育施設における「書かない窓口」というアウトプットの実現を行い、それを踏まえて「雨天時も利用できる屋内施設」の設置というアウトカムをめざす」ということをご検討いただければと思います。「芦辺地区公民館」「石田地区公民館」の受付機能を増強しつつ、あわせてVFX等の映像コンテンツ生成スタジオやDTMなどの音楽編集スタジオ、Youtubeなどの配信スタジオなどを子どもたち向けに提供することで、一定のハード整備も可能ではないかと思います。「石田地区公民館」の向かいには松永記念館もあり、デジタルアーカイブ形成スタジオとしても活用できるのではないのでしょうか。<br>文科省による「デジタル活用推進事業債(仮称)」の紹介は<br>https://www.mext.go.jp/content/20250128-mxt_shuukyo01-000039891_03.pdf<br>をご覧ください。 | ご意見として承ります。                                                                                                                                                     |
| 35 | 40ページ<br>～64ページ |                                                              |                       | 担当課として教育委員会という書かれ方がされていますが、教育委員会は市長部局における「部」に相当するものであり、担当課としては教育総務課・学校教育課・社会教育課といった具体的な名称が書かれるべきではないでしょうか。担当課としての課の名称を具体的に記載され方がより分かりやすいと考えます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 施策の中には、教育委員会内で連携して実施する事業もございますので、教育委員会という表記で統一しております。                                                                                                           |
| 36 | 41ページ           | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標1)                                      | (2) こども・若者の意見表明・参加の促進 | 「こども・若者の意見・提案の募集」と「こども・若者の意見を聴取する仕組みづくりの検討」については、政策企画課さんと一緒に推進課さんにお任せされてはいかがでしょうか。いきいろ子ども未来課さんの責任感には深く感銘するところがありますが、広報・広聴ならびに市民参画の職掌を担う部署に、こども基本法および本計画の趣旨をいきいろ子ども未来課さんから働きかけ、全庁的に子どもたちの未来を創出する体制を実現していただくほうが意義があるように思います。いきいろ子ども未来課さんの負荷軽減のためにも有効なのではないでしょうか。<br>※そのあとに出てくる「広報事業」についても同様。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 関係部署との連携を進めることは、全庁的な体制構築の観点からも大変有意義であると考えております。こども基本法及び本計画の趣旨を関係部署と共有し、意見を反映する仕組みを強化することが重要であると認識しており、今後具体的な役割について協議を進め、実効性のある体制を整えていければと考えております。貴重なご意見として承ります。 |

| No | ページ      | 章                           | 項目                   | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|----------|-----------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 37 | 41ページ    | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>1) | (2)こども・若者の意見表明・参加の促進 | <p>「こども・若者の意見・提案の募集」と「こども・若者の意見を聴取する仕組みづくりの検討」の実装にあたっては、壱岐市議会に「子ども議会」として実現してもらってはどうか。ここ数年においては開催されていないようですが、本計画を慎重に審議し、議会で議決するという過程の重みを鑑み、議会制民主主義に基づく二元代表制を採用する自治体における機関の一つとして、7ページの「4 計画の対象」に含まれる主体のあるべき姿として、自発的に取り組まれるように市長さんから「壱岐新時代における、こども・若者を支える議会のあり方」の一例として実施を要請されてみてはいかがでしょうかと思います。</p> <p>なお、「子ども議会」を実施していただくにあたっては、平成期に実施された取り組みの経験を活かしていただきつつも、「本会議部分の単なるイベント化」ではなく、政務調査をフィールドワーク形式で子どもたちに取り組んでいただくスタイルもご検討ください。(全国の「子ども議会」のうち、北海道士別市の「実践活動」や、静岡県菊川市の「調査・提言」といった事例をご参考にお願いしたいです。)</p> <p>また、単に議会にお任せされるのみならず、壱岐市教委の主権者教育担当の方や、市内の社会教育団体の方々などにご協力いただき、議員という非常勤特別職の役割や議決の重み、投票の重みなどをあらゆる市民が主権者として認識できるような取り組み方になるようにお進めください。</p> <p>そう考えますと、81ページの「こども・若者の意見を聴取するワークショップ等の開催数」は、令和11年度末の目標をもっと高めることができるものと思います。</p> <p>あわせて、81ページの「こども・若者の意見を聴取するワークショップ等の開催数」については、「壱岐なみらい創りプロジェクト対話会」など、いきいろ子ども未来課の所管分以外の実施数もカウントしていくようにしていけばよいのではないかと。あくまでも市として「こども・若者の意見を聴取する」ということが大事なのであって、いきいろ子ども未来課の所管事業に限定されるべきではないと思います。いきいろ子ども未来課の負担減をはかり、市のあらゆる部署(議会・議会事務局を含む)の広報・公聴のスキルを高め、庁内でまず共有・協働・共創を実現し、それらを踏まえたくうえで、いきいろ子ども未来課の皆さんは本計画に基づく施策の強化・実装に昇華させていただくことに専念するようにされてはいかがでしょうか。</p> <p>市のSDGs施策も継続的に取り組まれるでしょうし、政策企画課においては自治基本条例や総合計画の普及啓発・実践も行われるでしょうから、一緒に推進課さんのコーディネートのもと、こども・若者のための庁内すべてが「こども・若者の意見を聴取するワークショップ等の開催」を市として取り組むものとし、もって「壱岐新時代」「シン市役所」の実現とされるとよろしいかと思います。</p> | <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>こども・若者の意見表明・参加の促進について、「子ども議会」を活用してはどうかのご意見ですが、この取組は、未来を担う子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政との関わりや壱岐市が直面するさまざまな課題について考え、自らの言葉で市長等と質疑応答を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みを学ぶということを目的に実施をしており、子どもたちの主権者意識と市民育成を高める「学習の場」として捉えております。</p> <p>なお、ご指摘のように目標数値である「こども・若者の意見を聴取するワークショップ等の開催数」は、いきいろ子ども未来課以外の取り組みも含めた数値に修正いたします。</p>                                                    |
| 38 | 41ページ    | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>1) | (2)こども・若者の意見表明・参加の促進 | <p>こども・若者の意見表明・参加の促進を実現するための一助として、市長さんが小中学校や保育園・幼稚園を1年かけて順次訪問され、子どもたちと一緒に給食を食べる訪問行事をしてはどうでしょうか。折しも、すべての市職員さんと懇談をされているものと思いますが、それを学校や幼稚園・保育園においても実施する形で実現ができれば。「こども・若者の意見を聞きたい」という姿勢を明確にし、そのためにランチの時間に現場に飛び込んでいく市長さんの姿を拝見したいと思います。給食以外でも、節分やクリスマスなど、様々な場面で子どもたちの輪の中に飛び込んでいき、公聴の実践を市長さんがしてくださることを期待する。子どもたちと目線を合わせ、子どもたちがわかる言葉で、理解・認識状況を確認しながら、市の思いを届け、同じく子どもたちから思いを受け取っていただきたいです。内閣府の交付金対策で高校生を動員した程度に、「こども計画」とその実践にあたっては、子どもたちの現場に市長さんが溶け込んでいただきたいところです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>ご意見参考にさせていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 39 | 41～64ページ | 第4章<br>施策の展開                |                      | <p>第4章の「施策の展開」で図書館に触れられているのは「図書館教育担当を中心とした全職員で取り組む体制づくり」(53ページ)と「こどもの居場所として、市内の図書館、公民館、体育館等の社会教育施設を開放し、その活用を促進します。また、安全に利用できるように、施設の充実と維持管理に努めます。」(55ページ)の2箇所のみで、これらは「第2 期壱岐市子ども・子育て支援事業計画」から変更ありません。これまでの延長線上ではない新時代の図書館のありかたについてご検討いただきたいと切に願います。</p> <p>参考:第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(文部科学省)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>貴重なご意見を頂きありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、壱岐市における図書館のありかたを今後検討し、順次、施策を推進いたします。</p> <p>本壱岐市子ども計画と関連しまして、図書館について、また、子どもを取り巻く読書活動施策の方向性につきましては、令和6年7月に策定しております、『第2次壱岐市子ども読書活動推進計画(令和6～10年度)』をご参照頂ければと思います。</p> <p>参考URL:<br/><a href="https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/shakai_kyoikuka/toshokan/5616.html">https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/shakai_kyoikuka/toshokan/5616.html</a></p> |
| 40 | 41ページ    |                             | (2)こども・若者の意見表明・参加の促進 | <p>「こども・若者の意見・提案の募集」と「こども・若者の意見を聴取する仕組みづくりの検討」については、市役所の政策企画課や一緒に推進課や教育委員会等との連携を図り、今後は定期的に実施された方が良いと考えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>今後、施策を展開する上で参考とさせていただきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 41 | 42ページ    | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | (1)こどもや母親の健康の確保      | <p>いわゆる「プレパパ教室」等の、男性の育児参画や、育児参加意向は高いが何をしたいかわからず、女性の育児を阻害してしまいそうで不安がある男性向けの講座等の取り組みがあれば記載をお願いしたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>男性向けの講座等はありませんが、男女共同参画社会の実現及び結婚支援事業として、男性の育児参加等については、市民皆様を対象に啓発活動を実施しているところです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| No       | ページ   | 章                       | 項目                                                                    | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ご意見に対する市の考え方                                                                                                |
|----------|-------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 42<br>43 | 48ページ |                         | 基本目標3<br>(3) 児童・生徒の健全育成の推進<br>(5) 家庭や地域の教育力向上<br>48P<br>郷土の歴史文化伝統継承活動 | “ <b>壱岐愛溢れる社会・文化教育</b> ”<br>18歳で故郷を離れる宿命にある離島ならではの、子供たちのへの郷土愛に繋がる社会・文化教育は、島の大人の責任と覚えてなりません。<br>生涯にわたって壱岐を誇りに思う気持ちを養うふるさと教育の推進を提案させていただきます。<br><br>下記2点のふるさと社会・文化教育の提案<br><br>・お祭りの減少など、子供たちがお神楽文化(重要民俗文化財指定)に触れる機会が激減している現在、「壱岐の民族文化学習」の機会として、小学校・中学校・高校とそれぞれに、お神楽出前講演を高校卒業までに3回以上の体験学習を故郷文化教育施策として望まれます。<br>※島の誇り“壱岐神楽”は、国が指定する民俗文化財であり、教育現場の政教分離とは区別して取り扱う必然性(法的見解を含む)が存在します。<br><br>・離島壱岐の宿命・まだ社会の仕組みを知らない高校卒業の18才で島を離れる子供たちは、壱岐市の偉人、安左エ門翁の実の偉大さを知らないまま、殆ど故郷に戻れない。生まれ故郷の誇りを教えるのは島の大人の責任・小学生・中学生・高校生それぞれ知識吸収レベルに応じた、「壱岐の偉人学習」の機会を設けることで、高校卒業レベルでは、安左エ門翁の本当の偉大さ(社会への貢献)を理解できる教育施策が望まれます。<br><br>以上、故郷への誇り教育を提案させて頂きます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ご意見ありがとうございます。いただいたご意見は、壱岐市教育振興基本計画の中で対応させていただきます。                                                          |
| 44       | 48ページ |                         | 48ページ<br>(5) 家庭や地域の教育力の向上                                             | 各地区公民館のうち「芦辺地区公民館」について、現在、実質的に芦辺庁舎の中に移転していることになっているものと認識しています。ただし、移転はしてあるものの、実質的には機能停止の状態にあるのではないかと推察しています。令和の時代に合わせた「壱岐新時代」の社会教育の拠点となるべく、仮設でもかまいませんので、壱岐市公民館条例第4条の条例改正も含めて、機能再開を期待します。<br>この観点で、芦辺庁舎の2階の「旧芦辺町議会の議場跡地」および「2階にある会議室すべて」をもって、「芦辺地区公民館」(または「壱岐市中央公民館」)とされてはいかがでしょうか。「旧芦辺町議会の議場跡地」がどのような状態かわかりませんが、もしも議場のまま静態保存されておられれば、「こども議会」はじめ主権者教育の拠点として、有効に活用できると思います。また、多少の改装が必要であったとしても、そのプロセス自体をDIYのスタイルで、レイアウトづくりから子どもたちにワークショップをやってもらいながら整備をしていけば、子どもたちの思いが反映された施設としてリノベーション・コンバージョンが実現できるのではないかと思います。子どもたちの居場所づくりの整備の一丁目一番地は、「地区公民館」そして「中央公民館」であると思います。新築である必要はございません。あるべきものを、しかるべく子どもたちのために施策として展開していただければ幸いです。<br>あわせて、もともと芦辺庁舎にあることになっている「壱岐市中央公民館」につきましては、壱岐市公民館条例第4条による設置場所を変更し、「壱岐島開発総合センター」の中にテナントとして入居してもらうようにしてはいかがでしょうか。<br>「芦辺地区公民館」が移転する形でも構いませんが、離島振興法第二条によって指定された離島振興対策実施地域でのコミュニティ・アイランド推進事業ないしはその前身たる離島開発総合センター建設事業で建設されたに過ぎない、離島振興法に基づくハコモノである「壱岐島開発総合センター」のなかに、社会教育法に基づく学びの拠点施設「公民館」を入居させる形をとり、そのうえで各種の貸館事業や図書室等の機能を社会教育法や図書館法に準じて丁寧に提供するようにするだけであります。現状は、我が国が国民の血税を投入しているにもかかわらず、なぜかあるハコモノ扱いになっていて、政策企画課等の離島振興法担当課が管理すべきである建物が社会教育課に押し付けられ、ベストを尽くしつつも、あえて言葉を厳しめでいえば、惰性で社会教育課が管理しているように見える。社会教育課が主体性をもって学びの拠点として運用してくださること、そのうえでいきいる子ども未来課が「子どもたちのために」というエッセンスを加味していただくことを期待して、「壱岐島開発総合センター」の中に「芦辺地区公民館」または「壱岐市中央公民館」を移転させ、社会教育法上の魂を込めた【 <b>活きた施設</b> 】に育成していただきたい。建物にも条例にも魂が入っていない状態であり、その魂を入れることができる人材の育成(社会教育主事・社会教育士の活躍)を含めて、「壱岐新時代」の萌芽を具体的に結果で示していただきたい。そのうえでの公民館講座等に大きな期待をしています。 | ご意見として承ります。                                                                                                 |
| 45       | 48ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標2) | (5) 家庭や地域の教育力の向上<br>図書ボランティアの推進                                       | 「読書ボランティアの推進」については、「読書活動の推進」という事業名に置き換えてはどうでしょうか。公民館活動におけるボランティア活動のみが記載され、市立図書館の司書や各学校の学校司書の公務が軽視されているように思います。現場を支えている司書・学校司書の処遇改善が期待される文章をお願いします。また、学校や保育所・幼稚園への読み聞かせを行っている団体・ボランティアもあることから、公民館活動に限定しない「読書活動の推進」を行政として志してくださることが期待できる記述にさせていただくとともに、それがボランティアという名のもとの無償労働のみに期待されるかのような誤解を生まない表現への工夫をご検討くださいますようお願い申し上げます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ここでは、家庭や地域で展開する事業としての「図書ボランティア」について記載しています。<br>また、ご指摘の、市立図書館の司書や各学校の学校司書の公務を軽視する意図は全くございません。<br>ご意見として承ります。 |
| 46       | 48ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標2) | (5) 家庭や地域の教育力の向上<br>図書ボランティアの推進                                       | 「図書ボランティアの資質向上に向けた研修等」の一環で、ビブリオバトルにぜひ挑戦していただきたい。市長さん・教育長さんなどによる「大人の読書とそのプレゼンテーション」や、壱岐市青年団などの社会教育団体などによる「いずれ親になる若者や、子育て中の世代が読む本とその感想、子育て世代のニーズ」などが寄せられることで、日常の図書ボランティアに新しい刺激がもたらされるとおもいます。<br>また、「図書ボランティアの資質向上に向けた研修等」の一環で、「五島市立図書館」「平戸図書館」や「長与町の図書館・健康センター複合施設」「周南市立徳山駅前図書館」などの視察研修を行っていただき、壱岐に必要な図書館の機能について行政とともに未来志向で考える市民の育成を図っていただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご意見として承ります。                                                                                                 |

| No | ページ   | 章                           | 項目                                                                       | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                            |
|----|-------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 47 | 48ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | (5)家庭や<br>地域の教育<br>力の向上<br>学校施設の<br>地域開放                                 | 「学校施設の地域開放」という幅広の項目ながら、書かれている内容は「学校のスポーツ施設(体育館・運動場など)の地域開放」に限定されています。であるならば、「学校施設の地域開放」ではなく、「学校グラウンド・運動場の地域への開放」といった、内容と一致する項目への変更をご検討いただいたほうがよろしいかと思います。<br>一方で、社会教育課所管の「石田スポーツセンター」「青嶋公園」「勝本B&Gセンター(体育館・プール)」などの社会体育施設におけるスポーツ施設などの整備や人材育成に関する記述が(5)の中に見当たりません。「公民館」という社会教育施設の概念の中に含まれているのかもしれませんが、「公民館施設」と「スポーツ施設」は、広義の生涯学習の拠点なれど、社会教育と社会体育という異なる概念に基づく施設施策がとられておりますので、項目は分けて記載していただいたほうがよろしいかと思います。(なお、後段の別項目で社会教育施設・社会体育施設の記述もありますので、それをここから初出させるという書き方もあると思います。)<br>なお、いずれ竜崎市におかれましても、スポーツ基本法に基づく「スポーツ振興計画」を策定されることをご検討になられると思いますが、「こども計画」そして「観光振興基本計画」その他の計画との整合性を考慮して、スポーツ施策を市長部局で担当されるようにされるような視座も、長期的には、選択肢としてお持ちいただけますと幸いです。(本意見は、スポーツを市長部局に移管するべきという主張ではありません。そういう選択肢があるということと、そういう選択を取っている自治体もあることをご紹介しますものです。また、「スポーツ振興計画」を急いで策定するべきとは主張しません。)                                                                                                                                                                                          | ご指摘のとおり、事業名について、「学校グラウンド・運動場の地域への開放」に変更します。<br>その他は、ご意見として承ります。                                                                         |
| 48 | 48ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | (5)家庭や<br>地域の教育<br>力の向上<br>郷土の歴史<br>文化伝 統継<br>承活動                        | 「こども計画」に細かく記載していただくことを求めるものではありませんが、平成31年3月に竜崎市教育委員会が策定された「竜崎市歴史文化基本構想」と、それを受けて現在策定準備中の「文化財保存活用地域計画」において、次世代の文化を担うこどもたち(これから生まれてくる子どもたちを含む)と、子育て世代を対象とした歴史と文化と誇りの継承・創造の取り組みが行われるものと思います。先人が積み重ねてきた郷土の誇りを丁寧に正しく各世代が子どもたちに伝えていけるよう、文化財行政・社会教育行政・子育て支援行政が手を携え、また、そうした歴史文化を活かした商品開発などにより移出を増やし、雇用を増やし、各家庭の所得を増やし、「子どもを持ちたい」と思う若者たちが実際に子どもを持ち育てられる好循環を形成できるよう、市を挙げて創造的挑戦を重ねていただきますようよろしくお願いいたします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ご意見として承ります。                                                                                                                             |
| 49 | 49ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | イ. 保育所<br>その他 の施設<br>における児<br>童養育支援<br>の充実<br>②ファミリー・<br>サポート・セ<br>ンター事業 | 本パブリックコメント実施期間中の1月25日に、テレビで活躍する気象予報士の方を竜崎に招聘されて市主催(生活衛生課さん所管)による講演会が開催されます。まことに素晴らしい企画になっており、こどもたちや、子育て中の親世代の方々も参加したい意向があるものと思います。こうした市の行事において、子育て世代がより参加しやすくなるように、会場での託児が主催者側の配慮で行えるようにご検討いただけますと幸いです。すべてあまねくの行事で託児を実施することは、人件費その他の観点から難しいところはあると思いますけれども、こうした著名人を招聘される講演会で市が託児対応をされる姿勢や行動をとられると、市民のみなさんも「市は本気で子育て支援をするのだ」「市は本気で子育て世代にも環境保全の普及啓発をするのだ」という市の本気度を理解してくださるものと思います。<br>あわせて、会場での託児対応が困難であったとしても、ファミリーサポートセンター事業の存在がもう少し広まっていれば、ファミリーサポートセンター事業の制度を活用してご家庭でサポーターの協力を得て講演会等に参加することができる方も増えるものと思います。行事主催者側で「託児対応の定員や申し込み締め切り日」を示したうえで、あわせて「ファミリーサポートセンターもあるよ」といった案内を試行されることで、ファミリーサポートセンターの認知度向上や裾野の拡大の効果があると思いますので、ご検討ください。<br>なお、竜崎市の公式サイトにはファミリーサポートセンターの事業案内の掲載がなされておらず、委託先である竜崎市社協さんのサイト <a href="https://ikicity-csw.jp/kazahayahiroba/famisuppo.html">https://ikicity-csw.jp/kazahayahiroba/famisuppo.html</a> において紹介されています。市としても「委託元」の立場から、市の事業であることを明確にしたうえで、市として市のホームページの上で「これこれこういう事業で、市社協に委託している」という表現でコンテンツの拡充をご検討いただけますと幸いです。 | 近年、講演会などの際の託児支援の相談や要請等はありませんが、必要に応じて、予算措置も含め検討したいと考えております。<br>ファミリーサポートセンター事業については、竜崎市ホームページの結婚・妊娠応援サイトの中に掲載しておりますが、より分かり役位周知に努めてまいります。 |
| 50 | 49ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | イ. 保育所<br>その他 の施設<br>における児<br>童養育支援<br>の充実<br>⑤認定こども<br>園の整備             | 「認定こども園の整備」以外の「保育所や幼稚園の維持向上」を含めた「保育施設全体の整備と質の確保と量の向上」の概念になるように記述を工夫していただければと思います。<br>認定こども園があることに越したことがないのですが、竜崎市の都市計画など面的整備の根底のポリシーに「うら・ふれ構造の維持」があり続ける限りにおいて、認定こども園が竜崎市にとってベストソリューションなのか、非常に疑問があります。もちろん施設のリプレースのタイミングによって、ゾーニングとの適合性があるところには、建て替えを機に認定こども園化する等の戦略的なアプローチがあっていいと思います。<br>同時に、いろいろな経過を踏まえつつも、それらを冷静に飲み込み、「へき地保育所の再設置」や「へき地保育所や保育所の民間委託」さらには「学校内への移転による複合化」など、これからさらに進む少子高齢化の中でも地域の誇りと新たな命の芽吹きを支えられる【公共施設の再配置・最適化】と【保育所等を運営しうる事業体の育成や誘致・招聘】に向けて様々な選択肢が取れうる書きぶりの工夫をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 貴重なご意見、ありがとうございます。<br>「認定こども園の整備」の上段に幼児期の教育・保育サービスの充実を記載しております。<br>今後、関係部署で連携し、いただきましたご意見を参考に認定こども園の整備等を含め、研究していきたいと考えております。            |
| 51 | 49ページ |                             | イ. 保育所<br>その他 の施設<br>における児<br>童養育支援<br>の充実②<br>ファミリー・サ<br>ポート・セン<br>ター事業 | 竜崎市公式サイトにはファミリーサポートセンターの事業案内の掲載がなく、委託先である竜崎市社協サイトには紹介されています。市の事業であることを明確にするためにも、市のホームページ上で事業内容も掲載し、市社協に委託していることを明記された方がいいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 竜崎市ホームページでは、結婚・妊娠・応援サイトの中に掲載をしていますが、よりわかりやすいいい情報発信に努めます。                                                                                |

| No | ページ   | 章                           | 項目                                                      | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ご意見に対する市の考え方                                                                                                 |
|----|-------|-----------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 52 | 50ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>2) | イ. 保育所その他<br>の施設における児<br>童養育支 援<br>の充実<br>⑧広報事業<br>(再掲) | この部分だけ、本文に下線部がひかれています、意図せず下線部がひかれている場合は、下線なしの装飾をご検討願います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ご指摘のとおり修正いたします。                                                                                              |
| 53 | 51ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>3) | 幼稚園と保<br>育所の一元<br>化                                     | 「恒常的に不足する幼稚園教諭・保育士の確保に努めます。」という文言がありますが、「恒常的に不足する幼稚園教諭・保育士の育成や招聘に努め、福祉専門職としてのステップアップを支援しながら、人数とスキルの向上に努めます。」等の表現への置き換えをご検討ください。財政や職員定数など制約条件があることは承知していますが、福祉専門職としての処遇と、働く上での明るい未来像を提示しないと、いかに子どもたちのためといえども、有資格者は働いてくれない可能性があります。<br>また、「地域おこし協力隊制度による有資格者の募集」や、「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の片方しか持たずにおられて「保育教諭」にならない見込みの状態の方がおられる場合の、改正認定こども園法の経過措置期間中である2029年までの特例制度を活用した資格取得などの後押しを市として取り組んでいただくことを期待します。                                                                                                                                                                                                                         | 貴重なご意見、ありがとうございます。<br>有資格者の確保については、苦慮しております。いただきましたご意見を参考に、職員の雇用やスキルの向上などの取り組みを研究していきたいと思います。                |
| 54 | 51ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>3) | 幼稚園と保<br>育所の一元<br>化                                     | 「幼稚園については、保護者からの意見・要望等を含めて、幼稚園の統廃合についての協議を重ね、勝本幼稚園及び勝本幼稚園及び霞翠幼稚園を霞翠幼稚園へ、箱崎幼稚園及び瀬戸幼稚園を瀬戸幼稚園へ統廃合する方針を決定しました。」とあります。庁内での方向性を定められるまでの、保護者等に対する市教委主導の合意形成の努力と、庁内における合意形成の努力それぞれに感謝と尊敬の念を送ります。<br>今後は、令和8年度ごろを目途に「市立幼稚園・保育所再編整備計画(認定こども園化の構想を含む)」（仮称）や「市立幼児教育・保育施設再編成個別施設方針」（仮称）といった、幼稚園・保育所の全体像を計画化し、現時点の保護者以外の広範な市民の意見をパブリックコメントによって求める形をとって、保護者という特定の属性のみの合意で満足せず、将来世代を含めた「公共施設という資産を管理する本来の当事者である市民全般」に対して理解を得られるようにお進めください。「苓岐市政策市民参加制度(パブリックコメント)実施要綱」の第3条(4)に該当します。その際に、第5条第3項を満たすよう丁寧にお進めください。                                                                                                                          | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>いただきましたご意見を参考に、市民に対して理解を得られるよう進めてまいります。                                                 |
| 55 | 51ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>3) | 幼稚園と保<br>育所の一元<br>化                                     | 「幼稚園については、保護者からの意見・要望等を含めて、幼稚園の統廃合についての協議を重ね、勝本幼稚園及び勝本幼稚園及び霞翠幼稚園を霞翠幼稚園へ、箱崎幼稚園及び瀬戸幼稚園を瀬戸幼稚園へ統廃合する方針を決定しました。」とあります。いずれの施設も直接の接点がなく、子どもを通わせてもいませんし私自身も通園したことはありませんが、公共施設の再配置として妥当な方向ではないかと認識しています。<br>実現にあたっては、将来の「認定こども園」化を念頭に、現霞翠幼稚園の敷地周辺と現瀬戸幼稚園敷地周辺に、保育園機能を併設できるような視座を取り入れてくださることを要望します。そうすると、公私連携幼保連携型認定こども園の制度を活用した「認定こども園」化が図れるのではないかと考えられます。千葉県館山市では、館山市立北条幼稚園の敷地(残地)に館山市立中央保育園を移転させ、今後、公私連携幼保連携型認定こども園の制度を活かしたこども園化の準備が進められています。こうした事例を研究していただき、苓岐のスタイルでの、苓岐新時代を切り開く施設整備をご検討いただければと思います。 <a href="https://www.city.tateyama.chiba.jp/files/300372520.pdf">https://www.city.tateyama.chiba.jp/files/300372520.pdf</a> | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>いただきましたご意見を参考に、関係部署で協議を図り、認定こども園化に向けて協議を重ねてまいります。                                       |
| 56 | 51ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>3) | 幼稚園と保<br>育所の一元<br>化                                     | 「公立幼稚園及び公立保育所のあり方について議論を行い、一貫した総合施設の設置等、幼稚園と保育所の運営について検討」を創造的に推進していただくとともに、これから生まれてくる子どもたちを含めた対話と調和を深め、SDGsの思想に基づく持続的な苓岐の地域社会の創造性を行政内で発揮していただくために、行政組織内の担当部署の一元化を図ってはいかがでしょうか。<br>例えば、福岡県宗像市では下記のような組織構成を採用しています。(ただし、宗像市に市立の幼稚園・保育園・こども園はありませんので、このスタイルをそのまま苓岐に持ち込むことは現実的ではありませんが、制約条件が少なければ、これくらいのダイナミックな一元化ができるという意味での事例紹介としての記述です。)<br>(宗像市の組織図: <a href="https://www.city.munakata.lg.jp/kosodate/w051/R51siryou4.pdf">https://www.city.munakata.lg.jp/kosodate/w051/R51siryou4.pdf</a> )                                                                                                                            | 苓岐市は分庁方式となっており、担当部署の一元化に向けて改善すべき課題がありますが、関係部署で協議していきたいと思います。ご意見ありがとうございます。<br>市の組織機構に関するご意見として、参考とさせていただきます。 |

| No | ページ                     | 章                       | 項目          | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ご意見に対する市の考え方                                                                        |
|----|-------------------------|-------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 57 | 51ページ                   | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標3) | 幼稚園と保育所の一元化 | <p>後段に「恒常的に不足する幼稚園教諭・保育士の確保」が挙げられています。こちらについては、働き方改革を踏まえ、福祉専門職としての処遇改善が必要なのではないのでしょうか。会計制度任用職員ではなく、任期付きでいいので一般職職員に転換するとか、場合によっては特定任期付職員として処遇するとかの、「幼稚園・保育士に選ばれる職場環境の創造」が必要ではないかと思います。また、今おられる職員さんに保育士の資格を取得してもらう等の取り組みも有用ではないのでしょうか。ご検討ください。</p> <p>なお、新上五島町において直近に行われた地域おこし協力隊(奈留の保育所勤務の保育士)の募集においては、町が委託する社協に雇用される形で配属され、かつ、社協の正規雇用として勤務することが募集要項の中でうたわれておりました。総務省における地域おこし協力隊野制度も刻々と変わっており、そうした展開が可能となっているようですが、「壱岐市に非正規で雇用されるよりも、委託先でもいいから正規雇用で勤務したい」という福祉専門職等のUターン希望者の期待がもしあれば、それに応えられる働き方の創出もご検討ください。</p> <p>あわせて、全国のいくつかの自治体においては、かつて勤務していた職員を対象とした採用試験(「カムバック採用」といった表現が使われていることが多いです)が行われています。かつて壱岐市で勤務されていた幼稚園教諭・保育士の方々を対象とした「カムバック採用」の検討もされてはいかがでしょうか。</p> <p>そうした観点から、担当課欄においては、人事政策を担当する総務課の記載もご検討ください。地域おこし協力隊の制度を活用する場合においては、政策企画課の皆様にもご尽力いただきたく思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 貴重なご意見ありがとうございます。幼稚園教諭・保育士の採用に関するご意見として、参考とさせていただきます。職員の処遇等については関係部署で協議していきたいと思います。 |
| 58 | P51<br>幼児期の教育・保育サービスの充実 |                         |             | <p>■提案の概要<br/>段階的な「壱岐独自の教育/保育カリキュラム」の導入<br/>島の自然環境や文化など活かした壱岐独自の保育園/幼稚園の教育・保育カリキュラムを構築</p> <p>■提案の背景<br/>せっかく壱岐独自の豊かな自然と文化があるにも関わらず、保育園/幼稚園のカリキュラムは独自性に乏しいと感じるし、保護者からそういった話をよく聞く。</p> <p>これからのAIの時代に生きる子どもたちだからこそ、自然や文化に触れ創造性を育む教育が今まで以上に必須になってくる。</p> <p>また、移住者を増加させるという「壱岐市総合計画」を実現させる上でも、「教育」の充実は必須である。私も生後4か月の子どもと移住をしたが、その際にも子どもの「教育」は非常に調べた。一般社団法人 移住・交流推進機構が2023年に20-30代に実施した移住に関するアンケートでも、移住に興味がある理由の上位に「1位: 自然にあふれた魅力的な環境」「2位: 子育てに適した自然環境」「4位: 子どもの教育・知力・学力向上」が入っている。そこで「森のようちえん」のような取り組みをすることで、積極的に移住者を獲得する強みを持つことができる。</p> <p>こういった理由で、「壱岐独自の保育園/幼稚園の教育・保育カリキュラム構築」の重要性は非常に高い。</p> <p>また、教育カリキュラムを変更する難易度は、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「学習指導要領」を踏まえても、小中学校より保育園/幼稚園が現実的である。実際に下記のような公立の施設が実施している事例も多い。</p> <p>・長野県の信州型自然保育(信州やまほいく)<a href="https://www.shizenhoiku.jp/">https://www.shizenhoiku.jp/</a></p> <p>・滋賀県東近江市の里山保育<br/><a href="https://www.city.higashiomi.shiga.jp/machizukuri_kankyoku/moritomizuseisaku/1003954/1008593.html">https://www.city.higashiomi.shiga.jp/machizukuri_kankyoku/moritomizuseisaku/1003954/1008593.html</a></p> <p>■実施方法<br/>民間施設は資金面も含めて実施ハードルが高いため公立の施設での実施を検討。また急に大規模に実施するのはハードルが高いため、下記のようなプロセスで段階的に実施。</p> <p>① 単発のプログラムメインのカリキュラムの作成(壱岐にいる外部人材を活用することで、低コストかつスピード感のある計画作成が可能)</p> <p>② 実証的に1施設で上記のカリキュラムを実施</p> <p>③ 実証を振り返りつつ、他の施設にも導入</p> <p>④ 実証的に1施設を「森のようちえん」的なプログラムで運営</p> <p>⑤ 実証を振り返りつつ、他の施設にも導入</p> <p>■予算<br/>ふるさと納税/クラウドファンディングなどを活用</p> <p>■その他<br/>自然教育に興味がある若手保育士を全国から採用可能<br/>「お試し移住」と組み合わせて、短期滞在型の子育て支援策を提供</p> | ご意見を参考とさせていただきます。                                                                   |

| No | ページ   | 章                       | 項目                                                      | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ご意見に対する市の考え方                                                     |
|----|-------|-------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 59 | P51   |                         |                                                         | <p>&lt;現状・課題&gt;<br/>子どもの居場所作りについて、自分が知らない部分が多くあると思うので、現状や課題については特にありません。</p> <p>&lt;提案&gt;<br/>この1年間、芦辺まちづくり協議会で「こども自治会」というものを設立し、運営してきました。内容は子どもたちにも予算を使い、まちづくりに参加してもらうことです。<br/>「まち協の予算＝町に住むみんなが使えるお金」であるため、子どもたちにも使う権利があると伝え、「町をよりよくするため」「町の課題を解決するため」なら、やりたいことをやって良いというものです。<br/>詳細内容については、資料を添付させていただきますので、よければお目通しください。結果学校でも家庭でも習い事でもない「子どもの居場所作り」ができたかと思います。運営に課題はありますが、子どもたちが町に愛着を持ち暮らし、先生や親ではない地域の人と関わることができていると実感しています。子どもたち自ら町のイベント司会を申し出てくれたり、共通話題ができたことで会話も増えたりと、大変ながら良い面も多くありました。<br/>これを各まち協で運営することができれば、下記のことが望めます。</p> <p>&lt;幼少期&gt;<br/>・森のようちえんで、自主性を重んじる教育を受ける</p> <p>&lt;学童期&gt;<br/>・こども自治会で、お金の使い方を学び、アイデアを企画・運営し、形にする力を育む実践の場。<br/>・先生や保護者ではない大人との関わりの中で、広い視野を持って物事を考えることができる。<br/>・自分が将来目指したい未来の実現に向けて、推進する力をつける。<br/>ご検討のほどよろしくお願いいたします。</p>                                                                                                                                                  | ご意見として承ります。                                                      |
| 60 | 51ページ |                         | 幼稚園と保育所の一元化                                             | 今後は「市立幼稚園・保育所再編整備計画」や「市立幼児教育・保育施設再編成個別施設方針」といった、幼稚園・保育所の全体像を計画化し、保護者以外の広範な市民の意見交換の場を作り、市民との合意形成を図ることを実施して欲しいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ご意見を参考とさせていただきます。                                                |
| 61 | 51ページ |                         | 幼稚園と保育所の一元化                                             | 「恒常的に不足する幼稚園教諭・保育士の確保」が挙げられています。会計制度任用職員ではない処遇改善等も検討されることによって、応募する有資格者も増えるのではないのでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご意見を参考とさせていただきます。                                                |
| 62 | 52ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標3) | 幼・保・小の連携強化                                              | <p>新上五島町で行われているような「小学校内の空き教室に保育所を設置する」というスタイルの幼保小連携の可能性も検討してください。</p> <p>なお、認定こども園にこだわる場合において、検証をしないままの意見で恐縮ですが、小学校に幼稚園が併設されている場合において、その小学校内の空き教室に保育所を移転してきた場合、幼稚園と幼稚園を石田のように「幼稚園部」「保育園部」として隣接しているものとして「認定こども園」に移行させたりすることができるのではないのでしょうか。</p> <p>あわせて、「認定こども園」にこだわりすぎることなく、例えば「へき地保育所の学校内への再設置」といった形で、壱岐ならではの保育環境も創造できるような「幼・保・小の連携強化」のシナリオもご検討ください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 貴重なご意見ありがとうございます。今後いただきましたご意見を参考に、幼稚園・保育所の環境整備について研究していきたいと思います。 |
| 63 | 53ページ |                         | (2)こどもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備<br>イ. 豊かな心の育成<br>③読書活動の推進 | <p>「郷ノ浦図書館」について、バリアフリーの実現や、老朽化に伴う壁・天井の剥がれ等の対応などから、中長期的にみて建替え等が必要であり、関係者の皆様の腐心にも察するところがありある。しかしながらすぐの実現性のある建て替え議論に行きつかない見込みであることにも十分に拝察するところである。落ち着いて中長期的なビジョンで引き続き臨んでいただきたくお願い申し上げます。</p> <p>一方で、旧4町ごとにみたときに、図書館法に基づく図書館が「郷ノ浦図書館」「石田図書館」しかないというのも、読書活動の創造を担う拠点の偏りがあるように思う。そこで、「郷ノ浦図書館」を、芦辺庁舎1階か壱岐島総合開発センターに移転し、「芦辺図書館」として移転の上、再整備をはかり、もって面的な読書活動の基盤整備をしてはどうか。「芦辺地区公民館」の再整備と併せて、芦辺地区の創造性の拡張が期待される。もちろん「郷ノ浦図書館」を維持したまま「芦辺図書館」の増設ができるのであればこれに越したことはない。「子どもの居場所づくり」としての実装可能性を含めて検討していただきたい。ただし、お金をかけずに、既存施設のコンバージョン・リノベーションとし、次世代に負担をかけない範囲において、公共施設等適正管理推進事業債やデジタル活用推進事業債を活用することも考えていいものではないだろうか。</p> <p>「郷ノ浦図書館」であるが、コミュニティスクールの動きや、まちづくり協議会などとの連動性を鑑み、学校図書館の地域開放を推進するために、思い切って現在地での図書館の機能を停止し、壱岐高校を含む郷ノ浦地区の学校図書館に分散配置してはどうか。「学校図書館の図書館法による図書館化」により、学校において長崎県立図書館を含む蔵書の相互貸借ができるようにしたりすれば、ハコモノに依存しない読書活動の推進が期待されるとともに、学校を拠点にした地域活性化が図られるものと考ええる。</p> <p>また、「郷ノ浦図書館」の代替施設の確保を「長崎県立図書館壱岐分館」という形で県に設置してもらう等の取り組みも検討していただきたい。</p> | ご意見として承ります。                                                      |
| 64 | P59   |                         |                                                         | <p>&lt;現状・課題&gt;<br/>婚活サポートについてですが、参加者が毎回同じ人ばかりということはないですか？<br/>どこもかしこも知り合いだらけの島の中で「婚活」と名前がついているイベントの参加はハードルが高く、参加したいと思わない人も多いのではないのでしょうか？</p> <p>&lt;提案&gt;<br/>「婚活」というのを大々的に打ち出すのは辞めてみてはどうでしょうか？恋人がいる、いないに関わらず、誰でも参加できるようなイベントにして、運営をしっかりした方が良いような気がします。</p> <p>例えば人を集めるだけ集めて、運営の中で「結婚してる人・していない人」「恋人がいる・いない人」などカテゴライズして、ワークの時間など取ってみたら、結果参加率も出会いの場としても機能するイベントになるかと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ご意見として承ります。                                                      |

| No | ページ   | 章                           | 項目                   | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ご意見に対する市の考え方                                               |
|----|-------|-----------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 65 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 「重層的支援体制整備事業を活用した子どもたちへの支え」(担当:長寿支援課・市民福祉課)といった項目を、「こどもの居場所づくりのネットワーク化」の前に挿入することをご検討ください。こどもの居場所づくりそのものを目的にするよりも、重層的な地域包括ケアシステムの上で、高齢者の生きがいづくりや世代間の支えあいの中で、子どもたちを真ん中に置いた「居場所」も自然発生的に動きが始まり、そのうえでそのネットワーク化を目指していくことに、本計画の意味があるのではないかと考えます。)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 現時点では、重層的支援体制整備事業の活用予定はありません。今後研究していきたいと考えます。              |
| 66 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 「第2次彦根市のいのち支える自殺対策計画(令和5年度～令和9年度)」との整合性を取ったうえでの「自殺対策」を追加してはどうか。「ゲートキーパー養成講座」などが該当すると思う。なお、ここにこだわらなくてよいので、どこかに入れていただいて、取り残されたり、追い詰められたり、忘れられたりする子どもたちが減る施策展開がしやすいようにご配慮いただければと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 貴重なご意見ありがとうございます。<br>いただいたご意見を参考に、関係部署で連携を図り進めてまいりたいと思います。 |
| 67 | 60ページ |                             | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 第2次彦根市のいのち支える自殺対策計画(令和5年度～令和9年度)との整合性を取ったうえでの若者の自殺対策を追加していただきたいです。ゲートキーパー養成講座など、地域ぐるみでの取り組みとして掲載お願いしたいです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | NO66の回答のとおり                                                |
| 68 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 高校を卒業した「若者」の居場所づくりとして、長崎県教委に、彦根高校および彦根商業高校に専攻科を設置してもらってはどうか。コンソーシアム化のさらに先に高校の統合がありえるが、単純な高校の統合を彦根市が受け入れてしまうと、彦根に暮らす「高校の教職員」の数が減ってしまう。高校の教職員の働き方改革の実現と、高校という資源を活用した子育て支援と居場所づくり、さらには「20歳まで彦根で学べる環境の創造」を実現すればよいと思われる。島根県では、隠岐の島町の県立高校に専攻科があり、若者がしっかりと学んでいる。彦根においても、情報や保育、農業・水産業・畜産業のスキルが蓄積できる専攻科を県教委に設置してもらい、市費の拠出を抑え、むしろ彦根に学びに来る若者を誘致してはどうか。<br>なお、同じような考え方として「大学誘致」が考えられるが、国公立大学も含めてであるが、若者のためというよりも、大学の延命にお金が使われてしまうケースが大多数である。設置審対策のために市によるハード整備も必要な「大学誘致」を行うのではなく、県費で対応してもらえる「県立高校の専攻科設置」を県・県教委に要望していく進め方をしてはどうだろうか。ご検討いただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ご意見として承ります。                                                |
| 69 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 「居場所づくり」を推進する主体として、彦根市が出資している第三セクターの株式会社等にCSR活動として直接に取り組んでいただいたり、場所の提供など間接的な協力をしてもらえるようになることがたい。もちろん、観光施設においては「外貨獲得のための装置」であり、それに専念してもらえるほうが利益率が向上し、雇用が増え、その影響を受けて子どもの数が増える可能性が高いことから、無理に「居場所づくり」にこだわっていただく必要もないが、閑散期に子ども向けイベントに場所貸しで協力していただいたり、そこで働く従業員のための企業主導型保育事業の実施をしていただいたりなどの包摂的な支援があればありがたい。<br>一方で、直接にそうした取り組みをしていただかなくとも、そもそも第三セクターの役割を果たしていただき、雇用の創出や地域産業の活性化につなげていただけることは、経済波及効果もたらされ、子どもを持ちやすい社会環境の整備につながることから、存在していただくこと自体に感謝したい(そうした会社に対して出資をされている株主等としての市についても感謝の念がある)。<br>最近、第三セクターの自走化・自立化の名のもとに出資引き上げが行われたりもしている事例が散見されるが、ムリヤリ自走化・自立化を図って苦勞している事例もまた散見されている。第三セクターの法人のさらに先に、多様なステークホルダーが存在し、その中に「こども」と「その親」や、いずれに「親になる可能性のある若者」などがいることから、狭義の自走化・自立化にこだわることなく、増資や再出資なども含めて、経済活性化による子育て支援を検討していただきたい。特に株式会社彦根市に彦根市が出資を行うということは、いずれ黒字化が行われた時に、配当が株主たる彦根市に入ってくる可能性があるということである。「あたたかくモノをいう株主」として、自然人ではないが法に基づいた人格のある主体である「法人」を子育て同様に育てて、いずれ「親」たる彦根市に配当という仕送りをしてもらい、その配当を原資にした自然人たる彦根市民への子育て支援を充実させていただくような長期的な視座を彦根市行政には期待しています。(そういう観点では、「法人に対する育児放棄・ネグレクト」といった現象が発生しないことも願っています。法人の先に従業員やその家族がいます。株主としての彦根市のあるべき姿について、子育て支援の見地から先を見据え、どうぞよろしくお願いいたします。) | ご意見として承ります。                                                |
| 70 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標<br>4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進 | 「一岐國博物館」「イルカパーク」「松永記念館」「図書館」の「居場所・遊び場機能」に期待しています。地域と共働した博物館や図書館による創造活動は、子どもたち向けのアウトリーチ活動として、学芸員さん等がいろいろな実践をされています。2024年11月に、東京国立博物館において、期間限定ながら「あそびば◎とーはく！」が企画展として開催され、好評を博していました。<br><a href="https://www.tnm.jp/modules/r_event/index.php?controller=past_dtl&amp;cid=5&amp;id=11142">https://www.tnm.jp/modules/r_event/index.php?controller=past_dtl&amp;cid=5&amp;id=11142</a><br><a href="https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/asobiba-tohaku-report-202411">https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/asobiba-tohaku-report-202411</a><br>例えばこういうイメージで、施設の本旨を損なわない形で、思い切ったチャレンジをご検討いただければ幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ご意見として承ります。                                                |

| No | ページ   | 章                       | 項目                                         | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                  |
|----|-------|-------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 71 | 60ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標4) | (7) 地域ぐるみでの居場所づくりの推進<br>こどもの居場所づくりのネットワーク化 | <p>「こどもの居場所づくりのネットワーク化」の前に、「こどもの居場所づくりの支援」をお願いします。1月に公表された、令和7年度のこども家庭庁の成育環境課の予算案資料を見ていると、子ども・子育て支援交付金(こども家庭庁)と重層的支援体制整備事業交付金(厚生労働省)を原資とした国庫補助を市町村向けに予定されており、それによる民間団体への補助等を市としても検討・予定されているものと思います。この実施にあたって、こどもの居場所が必要以上に乱立してしまったり、補助金頼みで持続性のない取り組みばかりになって数年後にすぐ消滅してしまったり、目的外の利用が主になってしまったりしないように、子ども・若者が主役の取り組みになるように市の主体性・公平性の確保に向けた決意のようなものをご記載いただきたいです。</p> <p>同時に、民間団体に対しても、補助を使う・使わないにかかわらず、壱岐という公共空間において子どもたちをまんなかにおいた活動をする 것을求める規範のようなものを、行政からの期待として、記載していただければと思います。「高齢者等の多様な世代との交流」や「伝統文化や習慣・行事の実施」等にも補助が活用できるものになる見込みですが、こどもをダシにして非効率な団体運営の状態にある高齢者等団体の延命に使われるようなことが起きたり、介護人材不足を補うために子どもたちを学徒動員的に介護現場に送り込んだりするような展開がおきないように、いきいろ子ども未来課の決意ひいては壱岐市としての決意をお示しいただければと思います。</p> <p>この「こどもたちのために」という市の決意があつてこそ、その市の決意に共感する団体が集まるものであり、そうした決意に対する共感によるエンゲージメントがあつてこそ、ネットワーク形成の意義があります。「補助金にたかる輩の集団化」ではなく、「支援の輪」を広げていくことができる取り組みを期待します。</p> <p>また、政策企画課および一緒に推進課の協働・共創に関する施策を「自治基本条例に基づく協働指針策定とその実践」のような形で行い、政策企画課および一緒に推進課において「協働事業」や「NPO支援事業」のような形で非営利団体と行政(さらには企業などを含めたマルチステークホルダー)との協働・共創のビジョンをお示しいただくとよいと思います。それらの課でNPO向けの市の公益推進にかかる公募型の補助事業を実施し、その一環で「子育て支援(居場所づくり)特別枠(原資は、こども家庭庁の交付金)」という構図で補助金交付事務や補助先の選定などを政策企画課および一緒に推進課において担当していただくことで、いきいろ子ども未来課の皆様にはより本質的な取り組みに専念していただくような庁内体制の整備もご検討いただきたく思います。</p> <p>その他、居場所づくりを行う団体向けに、商工振興課所管の「NPO向けふるさと納税の指定寄附」の案内など、こども家庭庁の制度頼みにならない支援策の実施・拡充を期待します。</p> | こどもの居場所づくりを進めていく上で、まずはこどもの居場所を作っていく為のネットワークを構築を市を主体に行っていく必要があると考えます。その中で、民と意見交換を行いながら、民主体とした取り組みに対して国の行う交付金を活用する為、また公共空間を活用する為に市民と協議を行っていきます。 |
| 72 | 61ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標4) | (10) こどもの貧困対策の推進                           | <p>「団体等の立ち上げ支援を行い」とあります。いきいろ子ども未来課さんの責任感あふれる姿勢に感服しますが、ここはあえて本項目を削除してはどうでしょうか。代わりに記載するとすれば「エンゲージメントパートナー制度や、ふるさと納税のNPO向け指定寄附などの諸制度を活用し、市内外のこどもの居場所づくりを推進する団体と連携を図り、こどもの貧困対策の充実を行います。」というような文言の追加が考えられます。</p> <p>居場所づくりをゼロから始めるような団体の育成は、政策企画課さんや一緒に推進課さんにおける「協働・共創を実現するようなパートナーになりえるNPOの育成や誘致」の所管内で行っていただくとともに、社会教育課における生涯学習・社会教育の実践のなかで行っていただければよいものと思います。</p> <p>そのうえで、こども食堂などの取り組みを継続的に行いうる力量のある団体の中から、市(いきいろ子ども未来課)として適切と判断できる団体を、いわば選別し、いきいろ子ども未来課職員の有限な人的資源および時間資源を供与する考え方で臨んだほうが良いかと思います。有象無象のNPO等をすべていきいろ子ども未来課さんが相手し育成するのではなく、こどもたちのために資する団体とのみ、こどもたちのために連携する考え方が望ましいと思います。抱え込みすぎずに、いきいろ子ども未来課がやるべき仕事に焦点をあてて取り組んでいただくとともに、本来、担当すべき別の課の仕事まで抱えないようにしていただきたいと思います。</p> <p>なお、農林課ないし健康増進課に、農水省の「こども食堂向け備蓄米の交付」についてのゆるやかな連携に協力してもらえればいいなと思います。</p> <p><a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/bichikumai.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/bichikumai.html</a></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご意見として承ります。                                                                                                                                   |
| 73 | 62ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | 基本目標5<br>子ども・若者が希望を持って生きていくための支援の充実        | <p>できれば新たに(1)として項目を挿入し、今まさに生きている子どもたち向けに市が行っている支援施策の紹介や、新たな「こども計画」に基づいて市が取り組みたいことについて、市の思いを表現していただきたい。「基本目標3」の「(3) 児童・生徒の健全育成の推進」で書ききれなかったことをここに記載していただくとともに、「基本目標5」において、今まさに生きている子どもたち向けには何もしないかのような誤解が生まれないような書きぶりを作っていただきたい。</p> <p>すなわち、例えば「(1) 子どもたちの豊かな体験学習の機会の創出」といった項目が考えられる。それを行ってこそ、そうした体験学習を踏まえて自己肯定感と自尊感情を高めた子どもたちが、次代の親になっていく時間軸を、子どもたちを主役として記述していただきたい。</p> <p>たとえば、壱岐市の子どもたちが福岡県うきは市を訪問して、壱岐市では体験できない学びの蓄積を壱岐法人会と連携して行っている取り組みや、壱岐市がチーム防人と連携して行っている海岸漂着ゴミ清掃、SDGs施策として行っている「みらい創り(SDGs)対話会」、令和5年度末に劇団四季を招聘して実施した観劇鑑賞事業などである。せっかく市を挙げて子どもたちのために取組んできている事業群を、その実績と成果について、自信をもって紹介していただきたい。</p> <p>同時に、この「今まさに生きている子どもたち」向けの取り組みを紹介することなく「次代の親の育成」から既述を始めてしまうと、将来に壱岐という自治体を存続させるためだけに子どもに子どもを産ませるためだけの装置のような位置づけをしているかのような誤解を生じさせかねない。壱岐の誇りをもって、先人の思いを受け継ぎ、壱岐の地域社会に対する創造力を持った人材を育成し、世代を越えて郷土愛と感謝の念を内発的に沸きおこしてくれる「今まさに生きている子どもたち」に、壱岐市行政が何をするのかをぜひ記載していただきたい。</p> <p>あわせて、コラムのような形で構わないので、壱岐高校の甲子園出場の快挙と、それを踏まえてどのように「子ども・若者が希望を持って生きていくための支援の充実」に繋げていくかの市の思いを記していただくことを検討してほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ご意見として承ります。                                                                                                                                   |

| No | ページ   | 章                       | 項目                          | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|-------|-------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 74 | 62ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (2)多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し | 農林課の方々に「家族経営協定」の推進を農業生産者の方々に働きかけていただく取り組みを追加していただくようお願いしたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ご意見として承ります。農業委員会において推進しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 75 | 62ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (2)多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し | 日本における育児休業取得率は、女性は8割台で推移している一方、男性は上昇傾向にあるものの女性に比べ低い水準となっています。政府は、男性の育児休業取得率を2025年までに50%に上げることなどを目標に掲げ、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)の実現に取り組んでいます。<br>彦根市における男性市職員の育児休業取得率の実情は存じておりませんが、全国自治体一、せめて離島自治体一をめざして取り組んでいただくとともに、人口自然増の効果や人口増につながる機運が彦根市職員から他の職場に派生して伝わるように進めていただければと思います。<br>また、育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで、産後パパ育休(出生児育児休業)を取得できたり、初めにまとめて申し出れば2回に分割して取得することができたりする自治体の事例も散見されますので、制度の実装並びにそれが本当に活かせる職場環境づくりをぜひお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ご意見として参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 76 | 62ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (2)多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し | 彦根市のホームページでは、定期的に長崎労働局から提供される彦根での「ハローワーク求人情報」のまとめを掲載されているほか、検索機能の使い方などを紹介されている。<br><a href="https://www.city.iki.nagasaki.jp/boshu/8300.html">https://www.city.iki.nagasaki.jp/boshu/8300.html</a><br>また1月20日ごろには、彦根市と長崎労働局との間で雇用対策協定が結ばれている。今後、その協定が「こども計画」と連動して市民に対して幸せをもたらす方向で活用されていくものと考えます。そうした市の雇用創造・ワークライフバランスの実現に関する努力を項目として追加しておかれてはいかがでしょうか。<br>なお、彦根市と長崎労働局との間で雇用対策協定は、今のところ市長さんが個人のFBで個人的に紹介されているに留められているが、こういういい取り組みは市のホームページでも公式に発信していくようにしていただきたい。「市のホームページ」あるいは定住対策の特設CMS「いきしまぐらし」、あるいは前市長さんのブログを譲り受けての継続更新などで、特定のSNSだけでその利用者にしか行き届かない情報発信で留めないようにご配慮いただければと思います。もちろん紙の市の広報誌に掲載され、そのPDFがホームページに掲載されるわけで、市長さんの個人のFBはあくまで速報と受け止めることができるわけですが、それでもやはり「市長さんの個人FB」→「市のホームページ等」→「市の広報誌」の順で丁寧に関連付けて媒体の特性に応じた発信を期待したいと思います。その先に「多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し」があるものと思います。 | ご意見いただきありがとうございます。<br>彦根市雇用対策協定につきましては、ご認識のとおり、彦根市と長崎労働局との間で締結されたものですが、具体的に双方でどのように連携を行っていくかについては、今後設置される「彦根市雇用対策協定運営協議会」にて、次年度から施行される「彦根市第4次総合計画」で示された雇用に関する施策に関して情報交換を行い、双方で連携していく内容について整理し、協議を行っていくこととしております。<br>そのため、現時点では具体的な取り組みはございませんので、本協定についてご提案いただいた項目を本計画に追加することは考えておりません。<br>一方で、ご提案いただきました内容につきましては、連携して取り組むべき主な施策の1つにもございますので、協議会でも同様の内容について協議をさせていただき、必要に応じて市の担当部局や関係機関と連携を図っていきければと考えております。<br>また、本協定における広報につきましては、ご提案いただいたとおり、市のホームページに掲載させていただきたいと思います。 |
| 77 | 62ページ |                         | (2)多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し | 商工振興課の「彦根で輝く若者通信事業」の掲載を検討していただきたい。あれはとても素晴らしい取り組みであると思う。彦根市の未来を拓く若者たちの姿を、引き続き紹介してほしい。また、こども政策との整合性を踏まえ、さらなる訴求力のある媒体としての歩みを進めてほしい。<br>その若者たちがいる職場に小中高の生徒が会いに行く(職場見学をする)仕組みであるとか、その若者たちが学校に働くことの楽しさを紹介してくれる仕組みであるとか、そうした拡張可能性もあると思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ご意見ありがとうございます。今後、業務を遂行していくうえでの参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 78 | 63ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (4)良質な住宅の確保                 | 大村市においては、市営住宅の建て替えにあたり、同じ建物の中に「子どもたちの屋内での遊び場」として「おもろんど」という施設を作っています。単に住宅の建て替えをすることのみならず、都市計画と連動した公共施設の最適配置や、複合化によるメリットの享受などをご検討いただけますと幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 彦根市においては、低所得者を対象にしており、様々な事情で入居されている方が多数で、入居者も高齢化が進んでいる状況です。<br>今年度、公営住宅等長寿命化計画の見直しを図っているところであり、入居者へアンケートを実施しておりますので、参考にさせていただきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 79 | 63ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (4)良質な住宅の確保                 | 公営住宅の供給や公共施設のバリアフリー化に加えて、生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金に関する取り組みを掲載してはいかがでしょうか。家賃相当額を自治体から貸主(不動産媒介業者等)に支給する仕組みである。市としてあまり積極的に取り組みたい事柄ではないかもしれないが、子育て世代に対するセーフティネットの一つであることから、不動産業・不動産仲介業の方にも子どもたちのために協力してもらい、もって良質な民間住宅を確保するための施策として紹介をご検討されたい。<br>また、子どもを含む世帯の住宅確保用配慮者への居住支援を強化するために居住支援法人との連携を検討していただきたい。(住宅セーフティネット法に基づき、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録された住宅の入居者への家賃債務保証、賃貸住宅への入居に係る情報提供・相談、見守りなどの生活支援を居住支援協議会と連携し行う法人のことである。)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 住宅確保給付金は、支給期間が短く、また、子育て世代に特化したものではないので、こども計画における「良質な住宅の確保」を達成する取り組みとしては、あまりそぐわないものと考えます。<br>また、現在、市内に居住支援法人は設立されていません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| No | ページ   | 章                       | 項目                                  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|-------|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 80 | 63ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (4)良質な住宅の確保                         | 詳細を把握していないため、実情と違っていたら申し訳ないのだが、どちらかというと壱岐市における市営住宅は、用途廃止・建替を実施するためにすでに政策空家となっているものの除却・解体や、いまの子どもたちやさらなる次世代のために、さらに積極的に除却・解体そして集約の上での建て替えを推進するべき部分もあるのではないかと想像している。「良質な住宅の確保」を行政のみでやろうとせず、いわゆる「既存民間住宅の借上げによる公営住宅の供給の促進」や「空き家の発生の抑制」を含めての広範な「良質な住宅の確保」を志向するべきではないか。「壱岐市公営住宅等長寿命化計画(平成30～39年度)」と「こども計画」の整合性を確認していただくとともに、令和7年度からの「こども計画」そして「総合計画」の策定を契機に、中間見直しも視野に入れて「良質な住宅の確保」を進めていただきたい。なお、令和9年度からの次期計画にしても、中間見直しをするにしても、現在の「壱岐市公営住宅等長寿命化計画(平成30～39年度)」についてはパブリックコメントを経たものではないと認識しているので(※事実誤認があれば申し訳ない)、こうした経過を踏まえて「壱岐新時代」における「良質な住宅」とは何かを、ストックマネジメントの概念レベルから市民とともに子どもたちのためになるよう検討していただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 壱岐市公営住宅等長寿命化計画(平成30～39年度)に基づき、計画的な改修工事等を行うため、政策的に空けている部屋も多数ありますが、近年、入居者を募集しても若い世帯より単身の高齢者の申し込みが多く、空き部屋も増えている状況であります。今年度、長寿命化計画の中間見直しを行っている最中であり、既に入居者からのアンケートも集計しております。市民の声を反映した、「壱岐新時代」における子育てしやすい便利で住みやすい良質な住宅を目指し、計画策定中であります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 81 | 63ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (4)良質な住宅の確保<br>および<br>(5)良質な居住環境の整備 | この2項目が、基本的には公共施設・公営住宅に関するストックマネジメントとそのバリアフリーのみで完結されているので、「次世代のために『公共空間のエアーマネジメント』『面的な地域再生』に取り組む決意」を追加していただけないかと思います。<br>具体的には、「都市計画の推進と立地適正化計画によるエアーマネジメント」というような項目ではいかがでしょうか。<br>別項目で「認定こども園の整備」が掲げられています。これまでの「認定こども園の整備をめざした経過」を振り返ると、公立の認定こども園を整備する補助金等のメニューが「ない」から、私立の認定こども園を誘致しようとされた市の皆様の並々ならぬ努力の経過があります。市民のための相応な努力に対する感謝の念を持ちつつも、国土交通省の都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金)の制度を活用して、公立園として整備し、くださることをご検討いただけないかと考えております(その後の運営形態についてはいろいろな選択肢があると思います)。<br>都市再生特別措置法第46条第1項に基づき、市町村が都市再生整備計画を作成し、都市再生整備計画に基づき実施される事業等の費用に充当するために交付金を交付されるものですが、例えば高梨市(岡山県)では、この交付金を活用して幼稚園2園と保育園1園の統合による認定こども園の整備を行っています。<br><a href="https://www.city.takahashi.lg.jp/site/takahashi-kodomoen/">https://www.city.takahashi.lg.jp/site/takahashi-kodomoen/</a><br><a href="https://www.city.takahashi.lg.jp/uploaded/attachment/28392.pdf">https://www.city.takahashi.lg.jp/uploaded/attachment/28392.pdf</a><br>同様の取り組みは、四国中央市(愛媛県)においても行われているようです。<br><a href="https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/site/kosodate/1739.html">https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/site/kosodate/1739.html</a><br><a href="https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/uploaded/attachment/7043.pdf">https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/uploaded/attachment/7043.pdf</a><br>国土交通省の都市再生整備計画事業で「認定こども園」を整備する等の面的整備を行うためには、残念ながら現行制度では「立地適正化計画」が要求され、これと連動する形で居住誘導を図るためのツール・施設として「認定こども園」を位置付ける必要がありますが、こうした面的な地域(島)の再整備に取り組む姿勢を、こどもたちのために行うという「未来への投資」を「こども計画」を起点に打ち出していただくことで、壱岐新時代を実現するための「シン市役所」としての歩みとなるのではないのでしょうか。<br>また、「立地適正化計画」の策定を行うにあたって、「都市計画」もぜひ見直しをしていただき、芦辺や石田・勝本の中心市街地を含めた全体的な面的整備(建築制限を含む)を行っていただき、「うらふれ構造」のよさを活かしつつも、地域包括ケアシステムの維持ができるコンパクトシティ化を図っていただきたく思います。この実現にあたっては、一定の私権の制限も必要となる可能性があります。こどもたちのためという思いが共感されていく輪が広がることを期待しています。 | 立地適正化計画とは、都市再生特別措置法に基づき、人口減少と高齢化、生活エリアの拡散等の市をとりまく状況を背景として、将来的に予想される生活を支える機能の低下、地域経済の衰退等の課題に対し、まとまったエリアに生活サービス機能と居住を集約・誘導することで、人口を集積し、それと連携した公共交通ネットワークの再構築を行い、生活利便性の維持・向上、地域経済の活性化、行政コストの削減により、持続可能なまちづくりを実現するために、市が必要に応じて策定する計画のことだと認識しております。<br><br>現在、長崎県下においては、都市計画区域を指定している20市町のうち5市町で策定済、2市町が策定中である状況です。<br><br>今後、立地適正化計画に基づき実施される様々な基盤施設の整備等に対して、交付金や個別補助金等の補助率の上乗せや、重点配分等の集中的支援の対象となることから、他市町の状況を参考にしながら計画の必要性も含めて研究します。<br><br>壱岐市の特徴は、集落、民家が点在し都市計画を見直すのは難しいものがあります。現状を整理し、まちづくりの観点から壱岐市の特徴を抽出し、都市の成長・持続の観点から、計画を策定する必要があると考えられますので、壱岐市総合計画をはじめ他の関連計画との整合性を図り、各部署横断的に協議する必要がございます。また、計画の実現につきましても、短時間で実現するものではないため、計画的な取組を進めていく必要があると考えております。 |
| 82 | 63ページ |                         | (4)良質な住宅の確保<br>および<br>(5)良質な居住環境の整備 | 日本経済新聞の新聞報道によれば、「地方創生伴走支援制度」というものがはじまるそうです。地方創生に向けて国家公務員が地方自治体の課題解決に関わる制度とのことです。若手からベテランまで国家公務員2～3人によるチームを組み、定期的なオンライン会議と現地訪問により中小規模の自治体を支援する、とうたわれています。<br>「認定こども園を設置するための基盤整備・論点整理」や、「壱岐にいる国民たる子どもたちのために、そもそもどんな保育・教育施設が必要なのか」というところ、それと立地適正化計画や都市再生整備計画事業などについて、最近の知見を国の職員から提供を受けることが可能になりえるので、壱岐市でも活用されてはどうか。<br>なお、その際に、「国からご指導をいただく」という観点ではなく、「国に地方、それも壱岐という離島の実情をしっかりと見てもらう」という目的で、壱岐市の皆様には毅然とした主体性のあるご対応されることを期待します。全国でも難易度が高く、課題最先端をいく壱岐市に対して、ともに公僕の誇りをもった公務員として、壱岐の国民のために力を尽くしてくださる場合において、制度をご活用いただきますようお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 「地方創生伴走支援制度」につきまして、情報提供有難うございます。壱岐市においても、入居者が快適に生活が確保できるよう居住性向上を目指し研究して参ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| No | ページ   | 章                       | 項目                                  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|-------|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 83 | 63ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (5) 良質な居住環境の整備                      | これらの各項目を実現していただくには、建設課および教育総務課に建築士などの有資格者を配置したり、業務を推進する上で知見を有しておられる職員の方に建築士等の資格を取得していただいたりといった人事政策とその一環としての資格取得支援が必要であると考えます。<br>いくつかの自治体では、「職員さんの働き方改革」「職員さんの処遇改善」の一環で『職員さんが資格を取得したら、助成金を出す(助成金を出すので資格取得を奨励する)』という取り組みがあるそうです。<br>事例としては、下記のようなものがあります。<br>https://www1.g-reiki.net/city.munakata/reiki_honbun/r010RG000001214.html<br>https://www.city.nogata.fukuoka.jp/reiki/reiki_honbun/q006RG00000160.html<br>https://www1.g-reiki.net/karatsu/reiki_honbun/r079RG000001952.html<br>https://lg.joureikun.jp/ukiha_city/reiki/act/frame/frame110001574.htm<br>https://www2.city.amakusa.kumamoto.jp/reiki/reiki_honbun/r351RG000001597.html<br>https://www.city.maniwa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r142RG000001853.html<br>また、学校施設・社会教育施設の改修や統廃合、あるいは新築・除却が進むように、建築・都市計画の設計や計画行政を担う職員さんについて、「建設課兼教育総務課」とか「社会教育課兼建設課」とかの横串型の兼任人事の発令などもご検討ください。分庁方式の厳しさは拝察するところですが、それを乗り越える工夫をしていただいて、庁内での協働・共創の推進に期待しています。<br>なお、「職員さんの資格取得支援」に関しては、「幼稚園教諭・保育士のどちらかしか資格を持っていない方に、もう片方の資格も取得してもらう」という活用の仕方にも活かせると思いますので、ご検討ください。 | 現在、教育総務課内に有資格者を配置し、学校施設の改修等を進めております。<br>また、職員の資格取得の支援については研究してまいります。                                                                                                                                                                                     |
| 84 | 64ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (6) 安心して外出できる環境の整備<br>子育て世帯への情報提供   | 「公共施設等における、授乳施設や親子トイレ等に関する情報を、子育て情報誌やホームページ等を通じて提供していきます。」という内容であれば、担当課の欄において「管財課」「社会教育課」を明記するべきだと思います。「いきいろ子ども未来課」の負担軽減とともに、ファシリティマネジメントを担当する課におけるバリアフリーへの決意を引き出し、サイン計画を含めて実践的にこどもたちをめぐる社会的包摂を各担当課が本腰を入れて本来業務として認識していただく必要があるものと考えます。<br>「いきいろ子ども未来課」の役割は、それらの施設管理担当課がそれぞれの広報媒体でこども・子育て世代に向けて発信している内容を監修することであり、広報公聴担当課である「一緒に推進課」に対しても、こども政策担当課として「子どもの声を代弁する」という視点で働きかけていくものではないだろうか。<br>そういった意味では、「いきいろ子ども未来課」の皆様には、年に1度程度でも、こどもたちとともに公共施設をめぐる「どうしたらもっと使いやすくなるだろうか」とか「気になるところないですか」とかの公聴の伴走者の役目を期待したい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 子育て世帯向けの情報提供であるので、いきいろ子ども未来課が主として対応するものと考えております。<br>また、公共施設の所管課は、管財課、社会教育課だけではなく、ほかの課においても、不特定多数の方が利用される施設を管理しておりますので、各々公共施設を管理する課において、いきいろ子ども未来課を通じて、情報提供できる体制を構築していきます。                                                                                |
| 85 | 64ページ |                         | (6) 安心して外出できる環境の整備<br>子育て世帯への情報提供   | 「公共施設等における、授乳施設や親子トイレ等に関する情報を、子育て情報誌やホームページ等を通じて提供していきます。」という内容であれば、担当課の欄において管財課・建設課・社会教育課を明記するべきだと思います。特にホームページの掲載については、広報公聴として一緒に推進課も担当して頂ける、こども未来課の業務を分担することができると考えます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | NO84の回答のとおり                                                                                                                                                                                                                                              |
| 86 | 64ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (6) 安心して外出できる環境の整備<br>チャイルドシートの普及促進 | 西海市社会福祉協議会では、チャイルドシート等の再利用や着用促進のため、不要になったチャイルドシート等を市民から譲り受け、必要な方に貸し出しを行っています。もし壱岐市社協で福祉用具の貸付の一環でチャイルドシートの貸し出しを行えるようになれば、社協の子育て支援施策の充実にもなると思いますので、ご検討いただけますと幸いです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | チャイルドシートの再利用については、処分する側と再利用する側、双方にとってメリットがあり、ごみの排出量削減にも繋がるため、一部の自治体やNPO法人等で取り組まれていることは存じ上げております。<br>しかしながら、お子様の命に係わることであるため、事前に確認しておくべき事項も多数ございます。まず、使用期限内であること、事故歴がないこと、不具合がないこと、またクリーニングして清潔な状態で利用していただくこと等でございます。<br>賜ったご意見については、今後、検討させていただきたいと存じます。 |
| 87 | 64ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (6) 安心して外出できる環境の整備                  | 「スクールバスの運行」や、「通学や部活の利便性を踏まえたバスダイヤの展開(民間公共交通事業者との連携)」、「合理的配慮を必要とする子どもたちへの移動支援(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づくもの)」、まちづくり協議会等で実施されている自家用有償運送の支援およびNPO等による福祉有償運送の導入支援など、子どもたちの学びと育ちを踏まえた「壱岐市地域公共交通網形成計画」「壱岐市地域公共交通再編実施計画」との整合性をとった取り組みについて補記をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ご意見の項目は移動手段の充足に関係するものであり、安心して外出できる環境整備については、現行のままとさせていただきます。                                                                                                                                                                                             |
| 88 | 64ページ |                         | (6) 安心して外出できる環境の整備                  | 合理的配慮を必要とする子どもたちへの移動支援(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づくもの)、まちづくり協議会等で実施されている自家用有償運送の支援およびNPO等による福祉有償運送の導入支援など、公共ライドシェアの仕組みを利用し子どもたちの学びと育ちを踏まえた「壱岐市地域公共交通網形成計画」「壱岐市地域公共交通再編実施計画」との整合性をとった取り組みについて追記をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 取り組みについては、関係部署で連携しながら検討いたします。                                                                                                                                                                                                                            |
| 89 | 64ページ | 第4章<br>施策の展開<br>(基本目標5) | (7) 安全・安心のまちづくりの推進等                 | この項目か、または58ページの4(3)あるいは61ページの(10)の項目あたりが考えられるが、生活保護(所管課:保護課)についても追加しておいていただきたい。こどもが直接に生活保護を受けることは考えにくく、世帯主たる親世代向けの施策になるかと思うが、助けを必要とする方へ選択肢を提供する行政であっていただきたい。<br>(生活保護のほか、就学援助についても既存の市の取り組みを添えていただけるといいと思う)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 追記しました。<br>【追記】<br>事業名:生活保護制度<br>内容:法に則った制度適用の可否決定を行い、その最低限の生活を保障し、家庭の自立を助長します。                                                                                                                                                                          |

| No | ページ   | 章                                                | 項目                                                                          | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                           |
|----|-------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 90 | 66ページ | 第5章 量の<br>見込みと確保<br>方策(子ども・子<br>育て支援事業<br>計画)    | 2 教育・保育<br>提供区域の<br>設定<br>(1)人口推計                                           | 児童数の推計についてコーホート変化率法を採用されているとのことですが、1)変化率を求めるための基準値前年の数値、と<br>2)各年度の0 歳の推計方法(特に子ども女性比による場合、対象となる女性の年齢帯)、についてご教授いただけますでしょうか。<br><br>また、これらの今後5年間の推計児童数は第4 次壱岐市総合計画(2050 年に人口2 万人)を反映していますでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 0歳の推計については、各年の0歳人口を、20歳から44歳の女性の人口で割った数の過去5年間の平均を元に、推計したい年度の20歳から44歳の女性の人口を掛け合わせて算出しています。<br>尚、推計方法等の違いにより、第4次壱岐市総合計画の人口2万人は反映しておりません。 |
| 91 | 71ページ | 第5章 量の<br>見込みと確保<br>方策(子ども・子<br>育て支援事業<br>計画)    | 3 地域子ども・<br>子育て支援事業<br>の見込みと提供<br>体制の確保                                     | 79ページまで(1)～(17)の個々の内容を記載いただいておりますが、いずれも前期の実績が記載されておらず、また、その実績に対する評価も記載されていないことから、新たな期の量の見込みと確保方策が妥当であるのか評価とコメントができません。いずれも妥当なものであると仮定するにしても、いわゆるEBPMに関する考え方について庁内でご議論いただき、「こども計画」に続く今後のパブリックコメントの実施の際にはご留意いただきたいと思います。「こども計画」分においては、製本時に実際の実績を挿入いただくことを要望します。<br>なお、これまでの計画とこれからの計画において指標の定義が変わっているものがあると思われます。定義の違いがある場合はその旨の解説を脚注等で行っていただくようお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ご指摘の通り、(1)～(17)に実績と前計画における量の見込みとの差異をお示しして追記いたします。                                                                                      |
| 92 | 77ページ | 第5章<br>量の見込み<br>と確保方策<br>(子ども・子<br>育て支援事業<br>計画) | (12)子育て<br>世帯訪問支<br>援事業<br>(13)児童育<br>成支援拠点<br>事業<br>(14)親子関<br>係形成支援<br>事業 | 離島である壱岐市の置かれている地域特性と、職員配置が十分ではない行政の事情を踏まえた中で、子どもたちと子育て世代の実情を見つめながら、計画上の施策としては(12)～(14)について実施の予定を掲げないことについて妥当と受け止めています。ただし、社会情勢を勘案しながら、必要に応じて実施を検討という文言を添えられたことに敬意を表します。このあたりの意味合いについて、民生委員児童委員や、社協、まちづくり協議会、コミュニティスクール関係者、学校関係者の皆様とゆるやかな共有を図っていただき、有事の際には本計画に基づく「公助」ではなく「共助」「自助」でそういった方々が行政に代わる支援の当事者として動いてくださるよう、当事者意識を涵養していただけるように、計画にこう記載した行政の役割として仕掛けていただくことを希望します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ご意見として承ります。                                                                                                                            |
| 93 | 80ページ | 第6章<br>計画の推進<br>に向けて                             | 第6章 計画<br>の推進に向<br>けて                                                       | 「1 計画の推進体制」と「2 計画の達成状況の点検・評価」について、いきいろ子ども未来課を主語にしすぎではないかと思う。また、「市の附属機関」として、市長の諮問を受けて調査研究を行うはずの「壱岐市子ども・子育て会議」が「いきいろ子ども未来課の執行機関として運用されている状態」も少し地方自治体を構成するあり方として改善の余地があるのではないかと思う。<br>こうした考え方から、当該部分を下記のように書き換えてはと思うが、いかがか。<br><br>-----<br>1 計画の推進体制<br>【庁内体制】<br>・市長・副市長・関係部長等で構成する会議において、こども・子育て支援及び少子化対策に関する総合的な施策の展開について検討・調整等を行います。<br>・関係する各課が主体性をもって部局横断的な協力体制を構築します。これにより、出会いから結婚、妊娠、出産、子育て、教育に至る各段階に応じた切れ目のない支援を総合的に推進するための検討・調整等を行います。<br>【合議体の形成】<br>・学識経験者や児童に関する事業に従事する者等から構成される、市の附属機関「壱岐市子ども・子育て会議」において、壱岐市こども計画の推進状況等について審議を行います。<br>(この会議は、こども基本法に規定する「地方版子ども・子育て会議」として位置づけられています。)<br><br>【壱岐島全体での取り組みをめざして】<br>本計画の推進にあたっては、本市の子育て・教育・保健・福祉・雇用等の様々な分野の施策や事業が相互に連携し、こども自身の成長・自立に向け、横断的に取り組んでいく必要があります。また、教育・医療・福祉の関係機関や企業等に広く協力を呼びかけるとともに、地域やNPO、ボランティア等による主体的な活動の促進を図る必要があります。<br>関係機関や地域等がそれぞれの役割を果たしながら、各々の連携を強化し、すべてのこどもたちの育ちを支えることができるまちづくりに取り組みます。<br><br>2 計画の達成状況の点検・評価<br>壱岐市こども計画を着実に推進していくため、いきいろ子ども未来課が進捗管理を行い、実績の集約や課題の整理をしたうえで、政策企画課とともに事務事業評価を実施します。また、市長・副市長・教育長といった三役を中心に関係部長等とともに市全体の施策や総合計画との整合性を確認しながら進めていきます。<br>また、「壱岐市子ども・子育て会議」等の市の附属機関等で有識者や実践者の意見を求めるとともに、こども等の意見を聴取し、これらの結果を施策の推進につなげ、PDCAサイクルの中で計画に基づく事業効果を高めていきます。<br><br>(素案の図はそのまま追加) | ご意見として承ります。いただいたご意見も参考にしながら適正に業務を進めてまいります。                                                                                             |

| No | ページ   | 章                                         | 項目                                                                  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ご意見に対する市の考え方                                                                              |
|----|-------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 94 | 80ページ | 第6章<br>計画の推進<br>に向けて                      | 2 計画の達成状況の点検・評価<br>「子ども・子育て会議」のあり方について                              | <p>市の附属機関「子ども・子育て会議」の委員に市教委の幼稚園教諭の方と、市長部局の保育士さんがいらっしゃいますが、できれば事務局席のほうへ席替えをお願いします。代わりに、幼児教育を専門とした、博士の学位を持つような、大学の研究者等の「本件に関する本丸の学識経験者」の委員を招聘していただいたり、いまさに保護者として子育てをしている各世代の親の方々や、これから親になっていく未婚の広義の子育て世代、さらには20代の独身者たる若者などの委員の委嘱の増をお願いします。市の公共施設の現場を預かる幼稚園教諭・保育士の方々の運営側の実情も「子ども・子育て会議」には必要ですが、市職員の方々は事務局席から市民・有識者・当事者の声に耳を傾けていただくとともに、事務局席からそうした方々に行政の率直な気持ちを現場感覚を元にお伝えいただき、もって協働と共創につながる対話の場になるよう運営して下さることを期待します。</p> <p>また、「諮問されていないのに急に答申を出す」等の「子ども・子育て会議」の暴走に見える現象もいささか気になるところがあります。思い切って「壱岐市子ども・子育て会議設置要綱」ごと「壱岐市こども・子育て会議」を令和6年度末でいったん廃止し、「子ども・子育て支援法」第 72 条の規定に基づく「子ども・子育て会議」となる会議体を『壱岐新時代』の理念に基づいて設置しなおして、根本的にやり直してはいかがでしょうか。「壱岐市子ども・子育て会議設置要綱」の設置理念からして、いささかズレがあるのではないかと思います。</p> <p>たとえば、壱岐市の附属機関「壱岐市保健事業連絡協議会」に「児童福祉部会」(仮称)を設置し、「壱岐市保健事業連絡協議会・児童福祉部会」をもって「子ども・子育て支援法」第 72 条の規定に基づく「子ども・子育て会議」とみなす、という運用の仕方が考えられます。他の自治体では、「静岡市健康福祉審議会児童福祉専門分科会」や「長崎市社会福祉審議会児童福祉専門分科会」、「明石市社会福祉審議会児童福祉専門分科会」といった形で運用されているイメージです。</p> <p>壱岐市の附属機関「壱岐市保健事業連絡協議会」については、「壱岐市保健事業連絡協議会設置要綱」の第6条において、母子保健連絡会、予防接種連絡会、歯科保健推進連絡会、食育推進連絡会といった小委員会が設置されており、これに「児童福祉連絡会」あるいは「児童福祉部会」といった小委員会を追加して設置していただき、設置根拠となる設置要綱自体を置き換えてしまっ、抜本的に「壱岐新時代」の考え方に基づく「子ども・子育て会議」を設置しなおして、心機一転、こどもたちとその未来のためにオール壱岐で仕切り直ししていくようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>あらゆる方々のこれまでの努力に敬意と感謝を持ちつつ、根底の部分にズレがあるまま、さらに無理を押しとおし続けるよりも、一度立ち止まって冷静に見極め、腰を据えて基礎から作り直す勇氣を持ってみてはいかがでしょうか。一見遠回りのようですが、案外近道だと思います。</p> <p>なお、「壱岐市保健事業連絡協議会」も抜本的な改組を行い、地域福祉計画との連動性も意識しながら、上述の他自治体のイメージで「壱岐市社会福祉審議会」とか「壱岐市健康福祉審議会」とかの形で、そちらも令和7年度から抜本的に改組してしまうことも有意義かと思います。附属機関のあり方や、その委員たる地方公務員法第3条の3第2項に規定される特別職の公務員の職員管理について、文書法制および人事担当課の総務課主導で冷静に未来志向でご検討をしていただきたくお願い申し上げます。</p> | ご意見として承ります。                                                                               |
| 95 | 81ページ | 第6章<br>計画の推進<br>に向けて                      | 3 本計画における目標<br>数値の一覧                                                | 7ページで本計画が「こども」「子育て家庭」及び「若者」を主たる対象としている旨記述があるのですが、「若者」を対象とした施策として具体的に言及されているのが「こども・若者の意見の聴取するワークショップの開催(現状0 回、目標1 回)」なのが気になりました。本計画以外で「若者」を対象としているものはありますでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | こども施策を総合的に推進することで、自分が好きだと思う若者の割合や自分の将来に希望が持てる若者が増えると考えます。多くの計画においての対象は「市民」であり、若者も含まれています。 |
| 96 |       | 第5章 量の<br>見込みと確保<br>方策(子ども・子育て<br>支援事業計画) | 第5章 量の<br>見込みと確保<br>方策(子ども・子育て<br>支援事業計画)<br>1 教育・保育<br>提供区域の<br>設定 | <p>「1 教育・保育事業提供区域の設定」の前に、項目を追加し、「1 子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正への対応」(仮)というような項目にして、法の改正に対して壱岐市の保育行政が丁寧にかッチアップをして計画策定準備をされていることを示すとともに、読み手にその経過を知らしめてはどうか。下記のような構造イメージである。</p> <p>=====</p> <p>1 子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正</p> <p>本計画は、子ども・子育て支援法に基づく基本指針に即して、策定することとされてい ます。令和4年6月の児童福祉法等の一部を改正する法律及び令和6年6月の子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が成立したことを受け、基本指針の改正が行われました。</p> <p>〈主な改正内容〉</p> <p>○家庭支援事業の新設・拡充及び利用勸奨・措置に関する事項の追加</p> <p>○こども家庭センター及び地域子育て相談機関に関する事項の追加</p> <p>○妊婦等包括相談支援事業に関する事項の追加</p> <p>○乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）に関する事項の追加</p> <p>○産後ケアに関する事業の追加</p> <p>2 教育・保育提供区域の設定</p> <p>子ども・子育て支援法では、子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、教育・保育、地域子 ども・子育て支援事業を提供する区域を定め、当該区域ごとに「量の見込み」や「確保方策」を定 めることとしています。</p> <p>国から示された教育・保育提供区域の考え方、及び壱岐市における教育・保育提供区域の設定は、以下の通りです。</p> <p>(以下項目番号が変わるだけで同じ)</p> <p>=====</p> <p>内容はさておき、国の都合による変更(それも壱岐などの地域事情が反映されないもの)に対し、市民のために丁寧にキャッチアップされている壱岐市の保育行政の皆様の努力に敬意を表します。そうした努力の一端が正しく評価されるとともに、こうした差分を踏まえて計画行政への理解が市民の中で深まっていくことを期待します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ご指摘の通り、第5章に項目を追加して追記いたします。                                                                |

| No  | ページ | 章 | 項目  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                         |
|-----|-----|---|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 97  | その他 |   | その他 | <p>「へき地保育所」の閉所や、小中学校の統廃合、あるいは高校の統廃合など、暗い話が散見されていますが、少子化と人口減少の動きがあるからこそ、子どもたちに明るい未来を届けてあげたいところです。</p> <p>「へき地保育所の閉所」については、財政と職員定数の制約の中で、いきいろ子ども未来課の皆様の高度かつ重い責任感の中で、勇気を持って決断されたことは十分に尊重するところですが、本来はもっと全庁的に子どもたちの未来のために取組めることがあったのではないのでしょうか。そして、今からでも取り組むことができるのではないのでしょうか。</p> <p>たとえば、「新庁舎にこだわることなく、4庁舎の一つを廃止し、3庁舎にまとめる(県の壱岐振興局などへの間借りを拡大等)とか、天草市のように支所業務・事務所業務を郵便局等に委託して住民サービスを低下させずに支所を廃止するとかして、その資源を幼稚園・保育園や学校施設に投下し、子どもたちに投資するようなやり方も考えられると思います。既存のセクショナリズムにとらわれることなく、「壱岐新時代」にあわせた壱岐を職員の皆様が創造していただくような展開(それでいて原点に立ち返り地面に足の着いた冷静な展開)を希望します。</p> <p>公共施設等総合管理計画では全廃方針である「老人憩の家」を公共施設としては廃止し、自治会の地縁認可団体化や、まちづくり協議会の法人化などを支援して、機能を損なわずにそちらに移管していくことや、「老人憩の家」が持つ集会所機能を地区公民館や、高校を含む学校の地域開放の形で集約し複合化していく努力と、それによる各種老朽化施設の立て替え(新図書館や新庁舎の建設を含む)を始める段階ではないかと思います。4町合併を目指した努力を踏まえ、「壱岐新時代」の本格的な到来を期待しています。それは、これから生まれてくる子どもたちのために残せる、いまの我々現役世代が創造するレガシーになると思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>公共施設の管理については、公共施設個別施設計画の取組の進捗状況や今後の取組方針の見直し等について、把握を行いながら、必要に応じ、公共施設等総合管理計画の改定等の検討なども取り組み、引き続き公共施設の適正管理に努めていきます。</p> <p>「老人憩の家」については譲渡等に向けて、地元との合意形成を図っていきます。</p> |
| 98  | その他 |   | その他 | <p>計画の文章中に「児童委員」は登場しますが、「民生委員」が登場していません。ともに厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬のボランティアの方々ではあり、民生委員は児童委員を兼ねるわけですが、「児童委員」のみでよしとされずに、「民生委員」の方々の子どもたち(と保護者や地域住民)に向ける暖かいまなざしを正當に評価してあげていただく、何らかの形で記載をご検討ください。『民生委員・児童委員』という表現でいかがでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>民生委員は、児童委員を兼ねていますので、素案のと通りの表現でいいかと思います。</p>                                                                                                                       |
| 99  | その他 |   | その他 | <p>「こども計画」を素案の段階にまで丁寧に策定準備を重ねていただきありがとうございます。また、この下敷きとなる「教育振興基本計画(・教育大綱)」を並行して策定準備を重ねていただいていることにも深く御礼申し上げます。市長部局と教育委員会部局が、こどもたちの学びと育ちを支えることを目的に、庁内で丁寧に協働と共創を重ね、重層的かつ多面的な相互乗り入れによる連携に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>なお、令和7年度以降は、「生涯学習基本計画」や「スポーツ振興計画」などのまだ存在しない計画の策定準備などにしかるべく移行されるものと思います。が、いわゆる「計画疲れ」の現象もありえることから、こどもたちと学びと育ちに真に必要な施策に数年程度は集中され、焦らずに一つ一つの計画に定められた事柄を実践されていくことを優先していただき、公共の福祉の向上に資する取り組みにPDCAサイクルの推進を重視してお進めいただければ幸いです。</p> <p>あえて計画策定を行うとすれば、国の制度活用のために必要な「文化財保存活用地域計画」や「立地適正化計画」などは必要かと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>ご意見として承ります。立地適正化計画については、上記、NO81で記入済みです。</p>                                                                                                                       |
| 100 | その他 |   | その他 | <p>高校生(通信制を含む)や、義務教育の学卒後に自営や就職をした若者向けの取り組みの記載がないように思います。長崎県教委(や、通信制の学校設置者)に丸投げすることなく、「壱岐市で学ぶ、高校生というこども」や「高校生と同年代の若者」に対して、壱岐市がどのように育ちを支えるのかという決意をお示しいただけますと幸いです。</p> <p>あわせて、これは本計画に具体的に書き込んでいただくことを求めるものではありませんが、おそらく計画期間中に壱岐高校と壱岐商業高校の合併等の議論が始まってしまうものと思います。その際には、学校設置者・学校運営者の長崎県や長崎県教委に対して、壱岐の子どもたちのための学びの拠点について、壱岐市行政から実情をしっかりとお伝えさせていただくようお願いします。</p> <p>その際に、選択肢の一つとして「積極的に高校としては統合し、使わなくなった校舎を県の責任において転用整備等を行い、長崎県における壱岐地域の政策展開の拠点としてリノベーション・コンバージョンを行ってもらおう」といった取り組み方を提言していく等のリーダーシップを期待します。式見高校跡地のように放置されてしまわないようにご注意ください。</p> <p>たとえばですが、壱岐振興局を高校跡地に移転・建替えしてもらったり、県のリーダーシップのよって国の合同庁舎の各機関(税務署・法務局など)を共に高校跡地に整備してもらおうといった仕掛け方ができるのではないのでしょうか。長崎県立図書館壱岐分館をついでに作ってもらうような形で、市が作るべき図書館を県に作ってもらう方法もあると思います。そして、国境に面する離島の中でも最重要である壱岐に、国の機関を守り続けることはもちろん、防災庁を壱岐市に誘致する等の思い切った施策を県主導でこどもたちのために取り組んでいただく等の動きを進めてはいかがでしょうか。実現にあたっては、宇部税務署が宇部市役所に移転した例や、武雄税務署が武雄市役所に移転した例、大分地方合同庁舎の立て替えにあたって大分税務署と大分地方气象台も集約される例などもご研究いただければと思います。子どもたちがいずれ働く場所を、子育て世代が国や県にも相談等できる場所を、市が守るという姿勢を打ち出していただけますと幸いです。</p> <p>なお、上記が実現した時に、既存の国の各機関や県の機関が使っていた庁舎を市が借り上げ、郷ノ浦地区に可能な限りの本庁機能を集約し、新たな市庁舎を建設するまでの「つなぎ」として有効的に活用されるとともに、少しでも早く分庁方式の制約を受けない形での「庁内の協働と共創」が着手・創造できるように、ご検討をよろしくお願いいたします。新庁舎建設にこだわらないハード整備をめざしていただき、まずは庁内のコミュニケーションコスト(および建物の管理コスト)を下げ、そのコストカットの成果を、認定こども園建設や福祉専門職の処遇改善および招聘などに投入できるようにご尽力いただけますと幸いです。</p> | <p>ご意見、ありがとうございます。いただきましたご意見を参考に研究してまいります。</p>                                                                                                                       |

| No  | ページ | 章 | 項目  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ご意見に対する市の考え方                     |
|-----|-----|---|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 101 | その他 |   | その他 | <p>本計画のパブリックコメントの実施期間が、「<b>沓岐市政策市民参加制度(パブリックコメント)実施要綱</b>」の第6条第1項の示す30日を切って実施されていることについて、遺憾の意を表明します。おそらく、令和7年3月議会に当初の議案として上程されることを優先し、議会の慎重審議を期すことを目的に、現実的な都合・事情としてパブコメ実施機関の短縮に踏み切られたものであろうことは理解いたします。こども家庭庁の都合に振り回される地方自治体の艱難辛苦としても理解できます。</p> <p>しかしながら、本計画は沓岐市における未来を創造するにあたってとても重要な計画であるがゆえに、上記の実情や、こどもたち(およびその保護者)の意見の聴取の一步としても、30日を確保して実施するべきではなかったかという意見を表明します。すなわち、3月議会の当初での議案上程にこだわらずに、途中での追加上程を前提としたり、3月の定例会議に間に合わなくても、3月末なり4月末なりに本計画を策定するためだけの臨時会を招集したりするスタンスでもよかったのではないのでしょうか。それぐらいの重みのある計画であることを議員の皆さまに対して説明され、今までにない緊張感を持った慎重審議をお願いされるやり方もあったのではないかと思います。</p> <p>議会の審議スケジュールを尊重され、議員さんの負荷軽減に貢献され、円満かつ円滑な本計画案の議決をされようとした効率的な行政のありかた(地方の実情を知らない国の横暴的な計画策定の押付けに対抗する意味でも)として理解はできますけれども、「それでも市民(子どもたちを含む)からの意見を聴取するために30日の期間を確保した」という凜たる姿勢を見せていただき、そのうえで議会での慎重審議を求められたほうが、本質的な意味で議会への敬意・議決の尊重の姿勢を示すことになったのではないのでしょうか。</p> <p>あわせて、沓岐市議会基本条例の第13条の書きぶり、ないしその条文の必要性について、二代表制に基づく各機関が慎重に議論・対話をされることを期待します。</p>                                  | ご意見ありがとうございます。今後も適正に業務を進めてまいります。 |
| 102 | その他 |   |     | <p>本計画のパブリックコメントの実施期間が、「<b>沓岐市政策市民参加制度(パブリックコメント)実施要綱</b>」の第6条第1項の示す30日よりも短期間で実施されていることについて、おそらくは、令和7年2月議会に当初の議案として上程されることを優先し、議会の慎重審議を期すことを目的に、現実的な都合・事情としてパブコメ実施機関の短縮に踏み切られたものであろうことは理解いたします。</p> <p>しかし、本計画は今後の沓岐市においてとても重要な計画であり、こどもやその保護者、若者の意見の聴取の一步としても、30日を確保して実施するべきではなかったかと考えます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ご意見ありがとうございます。今後も適正に業務を進めてまいります。 |
| 103 | その他 |   | その他 | <p>40ページから64ページとして、「担当課」として「教育委員会」という書かれ方がされていますが、「教育委員会」は市長部局における「部」に相当するものであり、「担当課」としては教育総務課・学校教育課・社会教育課といった具体的な名称が書かれるべきではないのでしょうか。極端な表現を使えば、市長部局と教育委員会部局の対話が十分でなく、いきいろ子ども未来課さんが教育委員会を「課」として認識されている等、教育委員会制度を十分にご理解されていないのではないかという疑念すら感じます。いきいろ子ども未来課の皆様、教育委員会制度に関する解像度をもう少し高めていただき、「担当課」としての課の名称を具体的に記載される方向で書きぶりの調整をご検討いただけますと幸いです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | NO35の回答のとおり                      |
| 104 | その他 |   | その他 | <p>いきいろ子ども未来課の方々が抱えている業務量が多すぎる可能性や、業務量に比して職員(特に福祉専門職)が十分に充当されていない可能性を感じます。その中で、いくつかの前提条件を無視してでも迫りくる未来像に対しての対応を急がれているお姿を感じますが、行政総体として冷静かつ温もりのある福祉政策の充実をしていただくためには、組織設計を含む人事政策の拡充が必要ではないのでしょうか。そういった意味で、総務課の皆様のご活躍に期待するとともに、政策企画課・一緒に推進課の皆様との総合調整を期待します。</p> <p>その一環で、現在の高齢者福祉の領域では、1つの日常生活圏域を設定され、1つの地域包括支援センター(行政直営1つ)で対応されておられますが、これを旧4町一つづつを日常生活圏域とし、4つの地域包括支援センターを委託型で設置し、島内の社会福祉法人の福祉専門職の方々に担っていただくようにされてはどうでしょうか。なお、現在の行政直営による地域包括支援センターは、基幹型地域包括支援センターに移行し、4つの委託による地域包括支援センターをバックアップする役目として改組のうね継続し、重層化を図りつつ、職員定数上、高齢者福祉に偏ってしまっている市職員の数の引き上げを行い、その市職員をいきいろ子ども未来課や教育委員会に増員するイメージで、市民福祉サービスは下げないものとします。また、幼老共生を前提とし、高齢者福祉施設や社会教育施設などと幼稚園・保育園・こども園を併設させるなどして、総合行政・福祉行政としての厚みは維持(むしろ向上)させることを前提とされることも必要と思います。</p> <p>こうしたプロセスによって、島内においてこども園や障害者就業・生活支援センターを設置できうる福祉事業体を育成(あるいは誘致)していく重層性を確保していくことができるのではないかと思います。また、事業者の選定における公平性の確保や、施設の統廃合に対して住民の理解を得るための対話の機会の確保などに人的資源を投入できるようにし、創造性のある「沓岐新時代」におけるこどもたちのための施策展開ができるような体制整備をご検討いただけますと幸いです。</p> | ご意見として承ります。                      |

| No  | ページ | 章 | 項目  | ご意見(原文のまま)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ご意見に対する市の考え方 |
|-----|-----|---|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 105 | その他 |   | その他 | <p>幼保一元化と、認定こども園の設置、それに幼稚園・保育所の統廃合と再配置については、市長部局・教育委員会部局の垣根を越えた総合行政によって実現させていただきたい。庁内での協働と共創をまず実現していただきたい。そのうえで、私は、直近の壱岐市政の動向を見る限り、認定こども園・保育所を教育委員会の所管に移管する所管替えをする形が望ましいと考えるが、一方で幼稚園をいきいろ子ども未来課の所管にする(補助執行の体制を整える)形での庁内の幼保一元化を図ることもあってよいと考える。</p> <p>(東広島市の実装事例)</p> <p><a href="https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/section/reiki_int/reiki_honbun/m313RG00000318.html">https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/section/reiki_int/reiki_honbun/m313RG00000318.html</a></p> <p><a href="https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/73/03010003.pdf">https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/material/files/group/73/03010003.pdf</a></p> <p>県内においては、長崎市において行われている。</p> <p><a href="https://www1.g-reiki.net/nagasaki/reiki_honbun/q302RG00001018.html">https://www1.g-reiki.net/nagasaki/reiki_honbun/q302RG00001018.html</a></p> <p>なお、大村市においては、幼稚園はすべて認定こども園となったが、廃園となった「大村幼稚園」を市長部局が補助執行において解体を行っていた。</p> <p><a href="https://www.city.omura.nagasaki.jp/kanri/shise/gyosekaikaku/gyosehyoka/kekka/r4/r4hyouka/documents/0201r4jigyuu-saisyuu2.pdf">https://www.city.omura.nagasaki.jp/kanri/shise/gyosekaikaku/gyosehyoka/kekka/r4/r4hyouka/documents/0201r4jigyuu-saisyuu2.pdf</a></p> <p>県内外の幼稚園・保育園・認定こども園に関する所管事務事業の執行体制について、壱岐市政においても十分に検討を行っていただきたい。事例収集や電話・オンラインツールでのヒアリングはもちろん、若手職員・子育て世代職員、それに年齢を問わない福祉・教育専門職による視察を丁寧に行っていただきたい。</p> <p>なお、壱岐市において、いきいろ子ども未来課が幼稚園を取り扱う場合においては、三役の一角をなす教育長の三役としてのリーダーシップが発揮されることが必要である。教育長の処遇改善を含めて、あらゆる職員の処遇改善と業務の定義を行い、セクショナリズムを排除し、公僕としての誇りをかけ、こどもたちの未来のために市長を先頭に職員のボトムアップを活かした課題解決を期待する。職員のフォロワーシップや、職員力こそが、これからの壱岐市の未来を創造するものと考え、壱岐市の職員の皆様のご活躍に期待している。</p> | ご意見として承ります。  |
| 106 | その他 |   |     | <p>高校生(通信制を含む)や、義務教育の卒業後、自営や就職をした若者向けの取り組みや計画がないようです。通信制高校に学ぶ生徒の実態把握をし、壱岐市で学ぶ、高校生や働く若者やひきこもりの方に対して、壱岐市がどのようにサポートしていくのか掲載を希望します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ご意見として承ります。  |